

60th
Anniversary

鹿児島西ロータリークラブ 創立60周年記念誌

未来のために

— 継続可能な社会の創造と貢献 —

Kagoshima West RC 60th anniversary 1963—2023



Rotary
KAGOSHIMA-WEST 

鹿児島西ロータリークラブ創立60周年記念誌



鹿児島西ロータリークラブ

60th
Anniversary

1963-2023

60th
Anniversary



鹿児島西ロータリークラブ
創立60周年記念誌

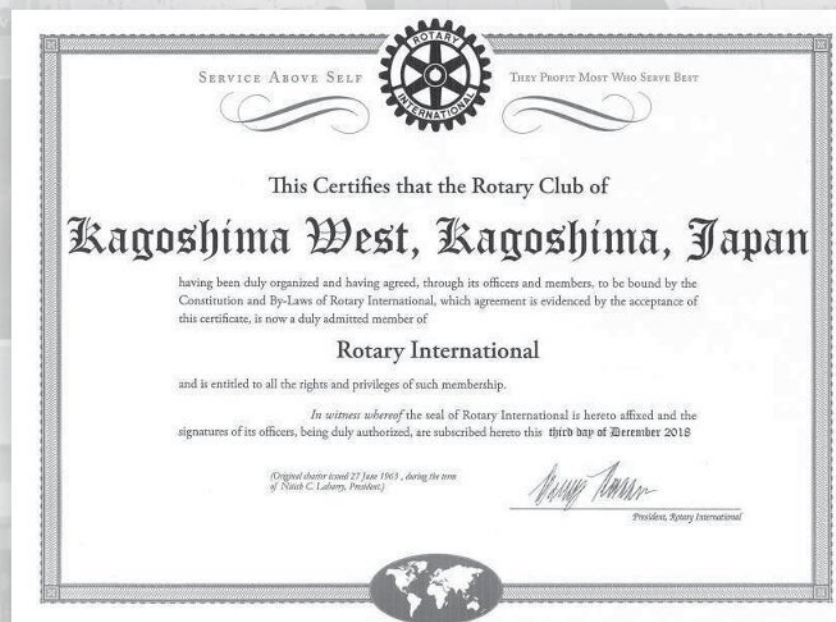
Kagoshima West RC 60th anniversary 1963 — 2023

未来
のために
— 継続可能な社会の創造と貢献 —

鹿児島西ロータリークラブ創立60周年 記念誌 目次

認証状	3	講演「創立60周年に思う」～私のロータリーライフ～	
60周年式典	4	60周年実行委員会アドバイザー 古木 圭介	34
祝賀会	10	記念フォーラム講演「未来のために」	
前夜祭	16	～ロータリーと私のストーリーテリング～	
歓迎、送迎	22	2023-2024年 RID2730 GE宮崎RC 池ノ上 克	36
記者会見、ゴルフ大会	23	記念フォーラム提言	
実行委員長あいさつ		・第一部「鹿児島西RCの活動紹介」	38
南 徹	24	・第二部「未来のための提言」	40
会長あいさつ		・第三部「まとめ」	41
堂園 光一郎	25	来賓、招待者、参加者 ご芳名	42
祝辞		60周年座談会「この10年を振り返る」	44
鹿児島県知事 塩田 康一	26	10年の歩み 2013年～2023年(51期～60期)	54
鹿児島市長 下鶴 隆央	27	物故会員	64
RID2730 カバナー 山ノ内 文治	28	ロータリー賞贈呈受賞者紹介	65
RID2730 ガバナーノミニー 笹山 義弘	29	地区出向者報告	66
RID2800 鶴岡RC会長 西川 富美子	30	活動報告	72
サンタローザ・サンライズRC Steve Amend	31	写真でたどる60年 アーカイブス	76
宜蘭RC会長 莊 杉崎	32	ロータリークラブの歌	84
下関東RC会長 吉利 用和	32	60周年実行委員会 組織図	85
RID2800 ガバナー 佐藤 孝子	33	会員名簿	86
RID2800 パストガバナー 藤川 享胤	33	60周年記念式典を終えて	
		南 徹	90

国際ロータリー加盟認承状伝達式 鹿児島西ロータリークラブ



鹿児島西ロータリークラブ 創立60周年 式典

・会場：サンロイヤルホテル 太陽の間 2023年4月8日(土)



一 式 典

会場-サンロイヤルホテル 太陽の間
2023年 4月8日(土)
15:30-開場 / 15:57-開会

■ オープニング映像 「未来のために」

■ 物故会員追悼 黙祷

■ 開会の辞

鹿児島西ロータリークラブ
創立60周年実行委員長：南 徹

■ 国歌斉唱

・アメリカ ・台湾 ・日本

■ ロータリーソング

「奉仕の理想」 斉唱
ソングリーダー：鮫島 信一

■ 主催者挨拶

鹿児島西ロータリークラブ
会長：堂園 光一郎

■ 来賓祝辞

鹿児島県知事：塩田 康一 様
鹿児島市長：下鶴 隆央 様
2012-13年度 RI会長：田中 作次 様
RID2730 地区
ガバナー ノミニー：笹山 義弘 様

■ 講演「創立60周年に思う」 ～私のロータリーライフ～

鹿児島西ロータリークラブ
創立60周年実行委員会アドバイザー
古木 圭介

■ 記念フォーラム

- 「未来のために」 講演

演題「ロータリーと
私のストーリーテリング」

講師 RID2730地区 ガバナーエレクト
元宮崎大学学長：池ノ上 克 様

- 「未来のために」 提言

第一部「鹿児島RCの活動とビジョン」

プレゼンター：寺田 賢司

通訳：軸屋 麻衣子 オペレーター：久永 忠範

第二部「未来のための提言」

プレゼンター：山田 拓也

通訳：軸屋 麻衣子

第三部「まとめ」

プレゼンター：有村 春房

通訳：軸屋 麻衣子 オペレーター：久永 忠範

■ 閉会の辞



サンロイヤルホテル ▲



▲ 受付



▲ 開場



物故会員
追悼黙祷



未来のために
～継続可能な社会の創造を願って～



開会の辞

鹿児島西ロータリークラブ
創立60周年 実行委員長・南徹



▲台湾



▲アメリカ



▲日本

国歌斉唱



ソングリーダー：鮫島 信一 ▲

「ロータリーソング
奉仕の理想」斉唱



▲ 司会：前村さおり



司会：中馬輝彦SAA ▲

主催者挨拶



鹿児島西ロータリークラブ 会長：堂園 光一郎 ▲

来賓祝辞



鹿児島県知事：塩田 康一様 ▲



鹿児島市長：下鶴 隆央様 ▲



▲ 2012～13年度 RI会長：田中 作次様



RID2730 地区ガバナーノミニー：笹山 義弘様 ▲



未来のために
「継続可能」な社会の創造に貢献



鹿児島西ロータリークラブ 創立60周年実行委員会アドバイザー: 古木 圭介 ▲

講演「創立60周年に思う」
「私のロータリーライフ」



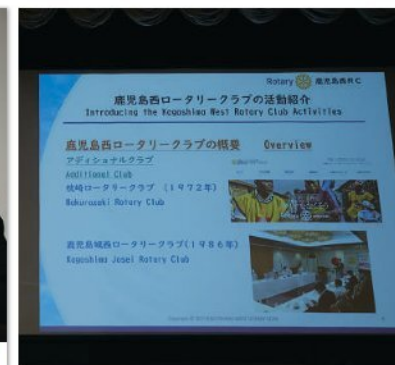
「未来のための」
記念フォーラム
提言

第一部

「鹿西RCの活動とビジョン」



軸屋 麻衣子、寺田 賢司 ▲



第二部

「未来のための提言」



▲ 山田 拓也

「未来のために」
記念フォーラム
講演



講師 RID2730地区 ガバナーエレクト ▲
元宮崎大学学長: 池ノ上 克 様

演 題

「ロータリーと私のストーリーテリング」



鹿児島県薩摩協同組合 ▲
会長: 西郷 隆文 様



第三部

「まとめ」



有村 春房 ▲



鹿児島西ロータリークラブ 創立60周年 祝賀会

・会場：サンロイヤルホテル 太陽の間 2023年4月8日(土)



祝賀会

会場-サンロイヤルホテル 太陽の間
2023年 4月8日(土)
19:20-開宴

■ オープニング演奏 「薩摩の調べ」

- ①「天 吹」 演奏：柚木 盛悟さん
- ②「剣の舞」 舞手：山下 剛さん
太鼓：山下 壮三郎さん
笛：山下 伴四郎さん

■ 開演

司会：宮川 博次
司会：永井 美砂江

■ 乾杯

鶴岡ロータリークラブ 第2800地区
バストガバナー：藤川 享胤 様

■ 兄弟クラブ 姉妹クラブ紹介

鹿児島西ロータリークラブ
会長：堂岡 光一郎 (介添え：出原 久美子)
鶴岡ロータリークラブ
会長：西川 富美子 様
サンタローザ・サンライズロータリークラブ
会長：スティープ・エイメンド 様
宜蘭ロータリークラブ
会長：莊 杉崎 様
下関 東ロータリークラブ
会長：吉利 用和 様

■ 薩摩琵琶「城山」

演奏：山下 剛さん

■ 謝辞

鹿児島西ロータリークラブ
創立60周年 副実行委員長：小山 光義

■ ロータリーソング

「奉仕の理想」 斉唱
ソングリーダー：鮫島 信一

■ 万歳三唱

2012-13年度RID2730
ガバナー：山下 皓三

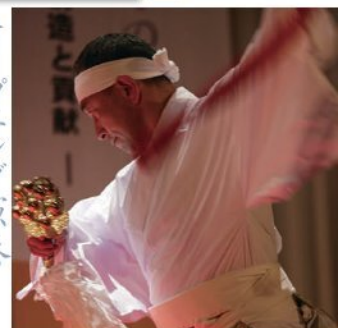
■ 閉宴



▲ 演奏：柚木 盛悟さん



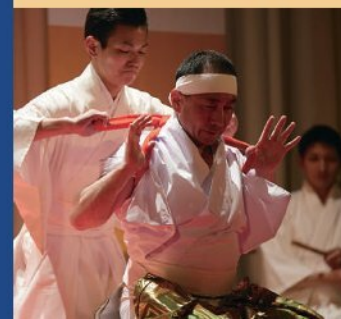
オープニング演奏
「薩摩の調べ」



「剣の舞」

▲ 舞手：山下 剛さん

太鼓：山下 壮三郎さん 笛：山下 伴四郎さん ▲





▲ 司会: 永井 美砂江 / 司会: 宮川 博次 ▲

開宴



乾杯



▲ 鶴岡ロータリークラブ第2800地区 バストガバナー: 藤川 孝胤様



▲ 鹿児島西ロータリークラブ 会長: 曾園 光一郎



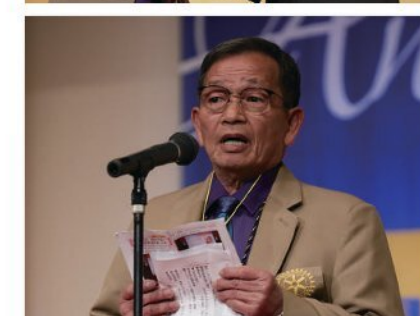
▲ 鶴岡ロータリークラブ 会長: 西川 富美子様



▲ サンタローザ・サンライズ ロータリークラブ
会長: スティーブ・エイメンド様



兄弟クラブ 姉妹クラブ 紹介



▲ 宜蘭ロータリークラブ 会長: 莊杉崎様



▲ 下関 東ロータリークラブ 会長: 吉利 用和様



未来のために
— 持続可能な社会の創造と貢献 —

「城山」
薩摩琵琶



▲ 弾奏: 山下 剛さん



謝辞

鹿児島西ロータリークラブ
創立60周年 副実行委員長: 小山 光義



「ロータリーソング
手に手つないで」
ソングリーダー: 鮫島 信一
斉唱



万歳三唱



▲ 2012~13年度 RID2730
ガバナー: 山下 皓三



▲ 2012~13年度 RI
会長: 田中 作次様



未来のために
「継続可能」な社会の創造を歌へ

鹿児島西ロータリークラブ 創立60周年 前夜祭

・会場：桜島フェリー 2023年4月7日(金)



▲ 17時出港

▼ サンタローザメンバーも到着



▼ 受付

前夜祭

会場-桜島フェリー

2023年 4月7日(金)

17:00-出港 / 17:30-開会

■ 出港&ウェルカムジャズ演奏
西田千穂カルテット

■ 参加国 国旗入場
・アメリカ ・台湾 ・日本

■ 開会の辞
鹿児島西ロータリークラブ
創立60周年 実行委員長：南 徹

■ 主催者挨拶
鹿児島西ロータリークラブ
会長：堂園 光一郎

■ 乾杯
国際ロータリー第2800地区
ガバナー：佐藤 孝子 様

■ 祝辞
鶴岡ロータリークラブ
サンタローザ・サンライズロータリークラブ
宜蘭ロータリークラブ
下関 東ロータリークラブ

■ 閉会の辞
鹿児島西ロータリークラブ
会長ノミニ：田中 藤雄

■ 万歳三唱
下関 東ロータリークラブ
会長：吉利用和 様



桜島フェリーをチャーターしての前夜祭 ▲



▲ 予定より30分早く16時受付



写真班もスタンバイ ▲



西田千穂カルテット
ウェルカムジャズ演奏

本祭りのために
「健康可なり社会の創造」を歌う



参加国
国旗入場

▲アメリカ (旗手: 濱寄 和久)



台湾 (旗手: 藤田 國匠) ▲



日本 (旗手: 寺田 賢司) ▲



開会の辞

鹿児島西ロータリークラブ
創立60周年実行委員長・南徹



主催者挨拶



鹿児島西ロータリークラブ 会長: 堂園 光一郎 ▲



司会: 和田 秀一郎 ▲
▲司会: 新坂 恵梨さん



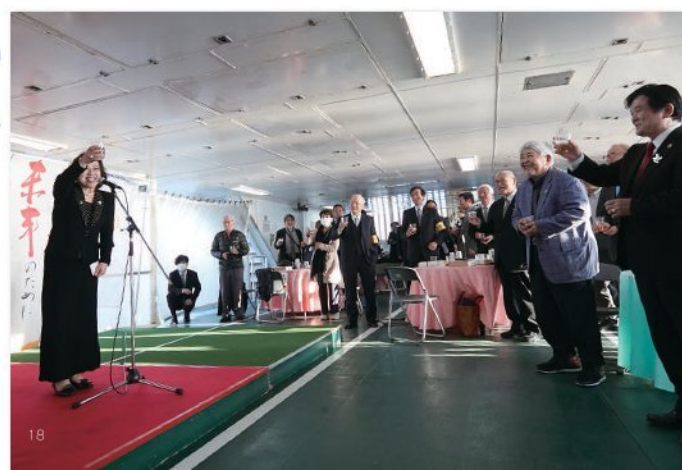
鹿児島県薩摩焼協同組合
会長: 西郷 隆文様



▶国際ロータリー第2800地区ガバナー・佐藤 孝子様



乾杯



鹿児島ぎょうざ協賛会さん ケータリング
ウクライナ郷土料理「ヴァレニキ」



弁当は鶴家さん ▲



鶴岡ロータリークラブ ▼

祝辞



サンタローザ・サンライズ ロータリークラブ ▼



下関 東ロータリークラブ ▼



宜蘭ロータリークラブ ▲





▲夕陽が沈んで会場移動

ジャズ演奏 夜の部



閉会の辞

▶鹿児島西ロータリークラブ 会長ノミニー田中 勝雄



▼下関東ロータリークラブ会長・吉利用和様

万歳三唱



演者紹介



ピアノ：奥村 和彦さん

ベース：石坂 真さん



ボーカル：西田 千穂さん

ドラム：福森 康さん

歓迎



▲ 山形県・鶴岡ロータリークラブ御一行(鹿児島空港)



▲ 山口県・下関 東ロータリークラブ御一行(鹿児島中央駅)



▲ 宜蘭 ロータリークラブ御一行(鹿児島中央駅)

送迎



▲ アメリカ・サンタローザ・サンライズ ロータリークラブ御一行(鹿児島空港)



▲ 2023年4月8日(土) サンロイヤルホテルにて

記者会見



60th Anniversary
鹿児島西ロータリー創立60周年記念
ゴルフ大会



▲ 2023年4月9日(日) 溝辺カントリークラブにて

当日は、姉妹クラブである下関東RCより15名、鶴岡RCより3名、鹿児島北RCガバナー補佐1名にご参加いただき、鹿児島西RCの15名と合わせて、総勢34名9組でのゴルフコンペとなりました。

前日の60周年記念式典のお酒も抜ききらない早朝より、雲一つない春天の空のもと各々思う存分プレーし、大いに親睦を深めることができました。



鹿児島西ロータリークラブ 60周年記念式典

創立60周年 実行委員長

南 徹

会場の皆様、RI2730地区に所属します鹿児島西ロータリークラブ、創立60周年記念式典の実行委員長を仰せつかりました南徹でございます。

こんなにも多くの皆様にご列席頂き、感激で胸が一杯でございます。

田中作治元RI会長を始めとして、国外は、アメリカはサンタローザ、台湾は宜蘭、そして国内は、山形県は鶴岡RC、山口県は下関東RC、宮崎県・鹿児島県地区各RCから多くの方々がお祝いに駆けつけてくださいました。塩田鹿児島県知事、下鶴鹿児島市長におかれましては、公務お忙しい中、ご参列頂き、恐縮の至りでございます。昨日の、前夜祭では、桜島フェリーにご乗船頂き、世界に誇る活火山、桜島と錦江湾の美しい景観とを、ジャズ演奏のライブと共に楽しんでいただきました。

そして、本日の記念式典となりました。我がクラブは、60歳となりました。人間に例えると、還暦でございます。

今回の記念式典のテーマは、「未来のために」でございます。混沌とした国際情勢のなか、日本のみならず、世界中の多くの国々では、未来のために何ができるのか、特異点の真っ只中に引き込まれ、先の見えない時代に突入しました。

だからと言って、あきらめてしまっては、人類の未来がなくなってしまう。

ロータリーの理念に超我の奉仕という教えがあります。まさに、世のため人のために奉仕していくことが、自らを救うことになるという教えだと思います。

ロータリアンの使命は、今こそ、超我の奉仕を実践し、未来のある世の中を構築していく責務があるように思います。永久の幸せを探究しながら、これからもロータリーは、進化していくと信じていものです。

本日は、60年の歴史を振り返りながら、参加してくださった皆様と共に、お祝いを頂きながら、さらなるロータリーの在り方を目指して、未来のために何ができるのかを、対話していただければ幸いに存じます。では、開催の幕を高々とあげ、宴の舞台を楽しんでいただければ幸いです。僭越ながら、私のようなものですが、開会の辞を述べさせていただきました。ありがとうございます。



鹿児島西ロータリークラブ 設立60周年式典にあたり

2022-23年度鹿児島西RC会長

堂園 光一郎

桜の時期からつつじの季節を迎えて春の装いもすっかり整いました昨今です。

本日ここにご多数のご臨席を賜り、60周年の式典を催すことが出来ますことを誠に光栄に思います。まずは鹿児島西ロータリークラブ会員一同へここより感謝を申し上げます。

わたくしども鹿児島西ロータリークラブは、伝統ある鹿児島クラブをスポンサークラブとして、昭和38年に鹿児島県では5番目のRCとして24名のチャーターメンバーでスタートしました。社会情勢に伴い会員数の変動はありますが、現在75名の会員数を保ち活動を行っております。ご出席のロータリアンがまだ幼かった昭和38年は、今でいうアニメブームであり当時の漫画は鉄腕アトム、エイトマン、鉄人28号等のテレビ放映が始まった時代でもありました。多くのロータリアンはこのような正義感に溢れ、社会に立ち向かうヒーローから大いなる影響を受け大人への階段を歩き始めたのではないのでしょうか。私も大いに影響を受けた一人であります。さしあたり今の子供たちに取りましては、「鬼滅の刃」か「スラムダンク」でしょう。

この時代の中、崇高な精神のもと設立された鹿児島西RCは、その後の歴代会長・会員の努力によりまして、この60年の間に4つのロータリークラブ設立のお手伝いをしました。また兄弟姉妹クラブと

いたしまして、昭和40年に山形県鶴岡RC、平成元年に米国カリフォルニア州サンタローザ・サンライズRC、平成25年に台湾宜蘭RC、最近では平成29年に山口県下関・東RCと姉妹盟約を結びました。本日も列席賜りましたことは鹿児島西クラブの誇りであり、また歴史そのものを物語ります。

県内外からご参加くださりましたロータリアンとその家族で集う今回の60周年記念式典は、西ロータリークラブだけのものにあらず、地域社会、さらには国際社会、将来に向けて発信された式典であると同時に、変わりゆく時代にあわせた「奉仕の理想」の追求に邁進する式典になることを切に希望してご挨拶いたします。



鹿児島県知事
塩田 康一

鹿児島西ロータリークラブ創立60周年を心からお祝い申し上げます。鹿児島西ロータリークラブにおかれましては、60年もの長きにわたり、奉仕の精神と高い倫理観をもって、福祉の増進や青少年の健全育成など、各種活動に熱心に取り組まれ、地域社会の発展に大きく貢献されております。

歴代会長、役員、会員の皆様の弛まぬ御努力と御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表しますとともに、60周年を機にますます発展されることを祈念いたします。

現在、我が国においては、加速する少子高齢化などに伴い、本格的な人口減少社会の到来を迎えております。こうした中、デジタル社会の実現やカーボンニュートラルの推進など、新たな時代の潮流に的確に対応し、様々な地域課題を解決するため、行政や地域コミュニティ、NPO、企業等の多様な主体が緊密に連携・協働し、支え合う必要があります。

県におきましては、持続可能な地域社会の実現を図るため、医療福祉や生活交通の維持・確保、防災体制の整備など、地域課題の解決に向けた地域コミュニティやNPO等による取組を支援することとしております。

また、物価高騰への対応などにしっかりと取り組

みつつ、鹿児島の「稼ぐ力」の向上、地域や各種産業を支える人材の育成・確保、結婚・出産・子育てしやすい環境の整備など、各般の施策に積極的に取り組んでまいります。

本県では、10月に「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されます。また、奄美群島が日本に復帰して70周年、屋久島の世界自然遺産登録30周年の記念すべき節目の年でもあります。

今年2月には、本県の新たな観光のキャッチコピーを「南の宝箱 鹿児島」と決定いたしました。本県は、世界自然遺産に登録されている屋久島や奄美大島・徳之島をはじめとする多様で豊かな自然や、昨年10月に開催された第12回全国和牛能力共進会において「和牛日本一」に輝いた鹿児島黒牛をはじめとする多彩で豊富な食材が多くあります。

こうした多くの「宝物」を県内外の皆様に見に来ていただきたい、あるいは触れていただきたい、味わっていただきたい。また、県民の皆様には、それぞれの地域にある「宝物」を認識し、新たな「宝物」を作り磨いていただきたい、そういう思いで、「南の宝箱 鹿児島」と決定いたしました。

今後この新たなキャッチコピーを活用した効果的なPRに努め、観光誘客・交流人口の拡大を図り、農林水産業や観光関連産業など本県産業の更なる振興に着実に繋げてまいりたいと考えております。

皆様には、引き続き、地域における活動を熱心に展開し、県政各般の施策の推進に一層の御理解・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、鹿児島西ロータリークラブのますますの御発展と、会員の皆様の御多幸・御健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



鹿児島市長
下鶴 隆央

皆様、こんにちは。鹿児島市長の下鶴でございます。鹿児島西ロータリークラブ創立六十周年記念式典が、来賓の皆様をはじめ、会員の皆様のご臨席のもと、盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、国内外から鹿児島にお越しの皆様を心より歓迎いたします。

貴クラブにおかれましては、昭和三十八年に設立されて以来、六十年もの長きにわたり、様々な奉仕活動を積極的に展開され、地域社会の生活・文化・福祉の向上、さらには青少年の健全育成や国内外の友好親善に大きく貢献される中で、着実な発展を遂げてこられました。これもひとえに、堂園会長をはじめ、歴代役員や会員の皆様の弛まぬご努力の賜物であると、深く敬意を表します。

また、かねてから、市政の各面に対しましても温かいご理解とご協力を賜っており、昨年は本市障害者基幹相談支援センターの開設十周年を記念したバリアフリー演劇鑑賞会に多大なるご協力をいただきました。

バリアフリー演劇は、字幕、音声ガイド、舞台手話通訳が配置され、あらゆる人がともに楽しめる鑑賞会として、参加した多くの皆様にご好評であったと伺っており、障害の有無にかかわらず、誰もが文化

芸術活動に参加できる環境づくりを進める本市といたしましても、大変ありがたく、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

さて、昨今の社会情勢は、物価高騰やエネルギー危機のほか、長引く新型コロナへの対応や人口減少の急速な進行など、先行きに対する不安感を払拭できない状況が続く一方で、観光客数が回復傾向にあるなど、社会経済活動の正常化が進みつつあり、鹿児島におきましては、本年、五十一年ぶりとなるかごしま国体の開催も予定されております。

このような中、本市といたしましては、地域特性を生かしながら創意工夫を重ね、将来の明るい展望が開けるよう、確かな歩みを進めていくことが重要であり、コロナ禍前の日常にただ戻るのではなく、人口減少時代に生き残り、住みたいまち、訪れたいまちとなるよう、地域の稼ぐ力の向上や子育て支援のさらなる充実など、各種施策に取り組んでまいりたいと存じますので、今後とも、温かいお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

ところで、本日は、サンタローザや宜蘭など国内外から多くの皆様がお出席されていると伺っておりますが、鹿児島市は、雄大な桜島と波静かな錦江湾に代表される世界に誇れる自然や、幕末から明治維新にかけての歴史・文化、市内各所に湧き出る温泉、昨年開催された全国和牛能力共進会で日本一に輝いた黒牛や黒豚、焼酎に代表される豊かな食など、魅力多彩な観光都市です。

鹿児島にお越しの皆様には、ぜひこの機会に本市の魅力を存分に堪能いただき、たくさんの楽しい思い出をお持ち帰りいただけると幸いです。

結びに、鹿児島西ロータリークラブがこのたびの節目を契機に、今後益々発展されますことと、本日ご出席の皆様方のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます、お祝いのことばといたします。

この度は誠にありがとうございます。



RID2730 ガバナー

山ノ内 文治

鹿児島西ロータリークラブにおきましては、本年度めでたく創立60周年を迎えられました。国際ロータリー第2730地区を代表しまして心よりお慶びを申し上げます。

設立にいたるまでのチャーターメンバー24名の熱意と、スポンサークラブの鹿児島ロータリークラブの尽力により昭和38年3月23日に創立、認証状伝達式を昭和38年6月27日に挙げて九州で28番目、鹿児島県で6番目のロータリークラブとして誕生しました。爾来、幾多の先達のご尽力により、今日の歴史と伝統に輝く60周年を迎えられましたこと、誠にめでとうございます。

貴クラブは会員70名を超える名門クラブですが、毎月テーマを決めた学習会を実施してロータリーの理念や奉仕活動を勉強しておられます。今年度の堂園会長は「やりがい」のあるロータリー活動を見つける事で、ワクワク感が生まれると会長挨拶で述べておられます。まさに例会重視、出席重視のロータリークラブの原点を見る思いがしております。

歴代の地区ガバナーも塘一郎氏、海江田卓氏、山下皓三氏の3名を輩出し、地区役員も数多く出向頂いております。また鹿児島西RCがスポンサークラブとして設立さ

れたのが、加治木・加世田・枕崎・鹿児島城西・ジャパンカレントEクラブの5クラブになります。姉妹クラブは米国のサンタローザ・サンライズRC、台湾宜蘭RC国内では山形鶴岡RC、下関東RCと提携しております。クラブアセンブリーにはそれぞれのクラブの創立記念日や盟約締結日も掲載されています。細やかな配慮のできる名門クラブと感服しております。

鹿児島西ロータリークラブを語る上で欠かせないのが昭和40年から継承されている「社会の目立たないところで、誠実にまた継続的に意義ある社会奉仕活動を行っている個人または団体を顕彰する」制度があります。まさにロータリークラブの奉仕の理想の原点であり、メディアにも取り上げられ公共イメージ向上にも多に貢献頂いております。これからも地域社会に必要とされるロータリークラブであり続ける為にも、ロータリーの基本を学びつつ時代の変化に対応出来るように、会員一同で切磋琢磨して頂きたいと思っております。地区内でも様々な社会奉仕、人道的奉仕を実践されてきた鹿児島西ロータリークラブでありますから、蓄積されてきたノウハウを存分に発揮されて更なる存在感を高められる事を期待し、鹿児島西ロータリークラブの益々のご発展と、会員及びご家族の皆様のご多幸とご健勝を祈念して祝辞といたします。



RID2730 ガバナーノミニ

笹山 義弘

桜花爛漫の候、鹿児島西ロータリークラブにおかれましては県内外から多くのご来賓並びにロータリアンのご臨席を仰ぎ、また厳粛な中このように盛大に創立60周年記念式典を挙行されますこと衷心よりお祝い申し上げます。また、本日の良き日を迎えるにあたり、南徹実行委員長をはじめ会員の皆様には企画から開催まで何かとご心労が絶えなかったことと拝察いたします。

鹿児島西ロータリークラブは1963年3月に鹿児島ロータリークラブをスポンサークラブとして創設されましたが、その4年後の1967年6月に私ども加治木ロータリークラブのスポンサークラブとしてその立ち上げにご尽力くださいました。加治木ロータリークラブにおいては10周年記念事業として1997年3月に加治木ローターアクトクラブを創設いたしております。私も加治木ローターアクトクラブのチャーターメンバーとして参画させていただきましたが、その折も幾度となく鹿児島西ロータリークラブ並びに鹿児島西ローターアクトクラブを訪問させていただき多面にわたってご指導を頂きました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。ことほど左様に鹿児島西ロータリークラブとは深いご縁を頂いております。そういう中、この60周年という大きな節目にガバナーノミニとしてご挨拶の機会を頂きましたことは私にとりましてこの上ない誉とすることです。

今回のご依頼をいただいてから、貴クラブとのエビ

ソードを探しておりましたらパストガバナー故岩沢光男氏の手記にその一節がございましたので、ここでご紹介させていただきます。

加治木ロータリークラブの創立は1967年6月27日鹿児島西ロータリークラブがスポンサークラブで土橋英男氏が特別代表であった。何回も打合せをしたが、毎回の出席が困難視され、創設が先ず決まらなかった。加治木ロータリークラブの創設は横山淳一氏が中心になり募集が始まった。1996年8月頃だったろう。チャーターメンバーは21人が登録されていた。この年度は吉村常助ガバナーだった。承認は1967年9月20日、伝達式は1968年5月26日向笠広次ガバナー(1982-83年度RI会長)であった。

数人の入会者があったが同数の退会者があり、会員の補強は容易ではなかった。ロータリーの奉仕について鹿児島西ロータリークラブの柴山一雄氏、土橋英男氏、鮫島志芽太氏、川上鐵太郎氏、高井敏治氏に熱心な教育を受けた。との記述でした。今後とも、貴クラブにおかれましては所高所からのご指導をよろしくお願いいたします。

また、併せて山下皓三パストガバナーをはじめ多くの地区委員を輩出くださり地区を支えて下さっていることに対しまして衷心より感謝と敬意を申し上げます。

ロータリーにおいてはコロナ禍を経て戦略計画をはじめDEIの導入など将来を見据えて持続可能な組織として変革の時を迎えています。どのような時代にあっても普遍的な理念と時代に合わせた改革が求められているのではないのでしょうか。ロータリーの基本は何と言いましても元気なクラブを作ることと尽きると思います。そういう意味で、ここにお集まりのロータリアンの皆様と一緒に互いに親睦を深めロータリーを楽しんでまいりたいと思います。

結びに、鹿児島西ロータリークラブが堂園光一郎会長を中心に今後ますますご発展なさいますことをご祈念申し上げまして、祝辞といたします。



RID2800 鶴岡RC 会長

西川 富美子

鹿児島西ロータリークラブの皆様、創立60周年誠におめでとうございます。

この大変意義のある佳き日にご招待下さいました堂園光一郎会長並びに会員の皆様に感謝し、鶴岡ロータリークラブを代表して心からお祝い申し上げます。

また、貴クラブがこれまで築かれたロータリー精神の確立と、南米チリ支援、ベトナム子供支援プロジェクト、更に当クラブも参加のネパール支援計画など、素晴らしい支援活動の実践に改めて敬意を表します。

1963年貴クラブが創立され、その2年後に当クラブと友好クラブとして締結してからまもなく60周年を迎えます長い歴史の中で、かけがえのない兄弟クラブとして友好を深めて参りました。当クラブは貴クラブの創立の4年前の1959年に創立され、先人のロータリアン達が同じ時代を共に歩み活動してきたことを思いますと感慨深く、南洲翁によって結ばれた絆は揺ぎ無く続くものと確信しています。

本日参加の当クラブ会員は全員パスト会長でありますとともに、5年前に鹿児島に訪問しましたメンバーでございます。この度の貴クラブの60周年

式典を心待ちに本日参りました。4年前の当クラブの60周年記念式典には貴クラブ会員・麗夫人等42名のご参加を頂きましたことこの場をおかりして感謝申し上げます。

最後となりますが、貴クラブの今後更なる躍進とご活躍されます事、会員の皆様及び本日ご参加の皆様のご健勝を祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。



サンタローザ・サンライズRC

Steve Amend

ロータリアンの仲間の皆様、堂園会長、元国際ロータリー会長の田中様、そして卓越したゲストの皆様、こんばんは。今宵は奉仕の絆と私達の社会貢献について、語り合いたいと思います。

2017年の10月8日の夜から9日にかけて、ナパ郡、ソノマ郡、メンドシーノ郡の各地を火の嵐が襲いました。5130地区に住む5千人もの人々が、住む家、仕事、個人の財産を失いました。私達の隣人である89名も、命を失いました。私達のロータリーメンバーの11名が家を失いました。妻のキャサリンと私自身、そしてジュディとハリー・コフィー夫妻も含まれます。

鹿児島と広島の人々である、鹿児島西ロータリークラブ、広島中央ロータリークラブ、鹿児島サンタローザ友好協会、鹿児島市長室と市役所の皆様、そして鹿児島国際大学の皆様からすぐに連絡を頂きました。最初に皆さんは私達の安否を心配して下さい、それからお悔やみと資金的援助が届きました。

ロータリアンの皆様、市役所職員の皆様、鹿児島国際大学の学生の皆様、鹿児島サンタローザ友好協会の皆様、そして鹿児島の人々から集められた合計84,000ドルの支援金が、届けられました。それは驚くべきことでした。

33,000ドルはサンライズ・ロータリーの家を失ったメンバー(我々のメンバー中11名)へ手渡され、残りの51,000ドルは私達よりも不幸に見舞われた人々へ

地域基金として届けました。

朝日新聞の記者が私達を訪ねて来て、火事による荒廃と喪失を記録しました。

当時の鹿児島市の森市長がサンタローザを訪問し、鹿児島市役所職員から集められた4,000ドルを届けて下さいました。その支援は本当に心温まるもので、無条件のものでした。

私達は再建し、皆さんが私達の為に個人レベル、そしてコミュニティ全体の為にして下さったこと全てに感謝して、皆さんの前に立っています。

最後になりますが、ワールド・ベースボール・クラシックでの優勝、お祝い申し上げます。大谷翔平選手は、日本のペーブ・ルースだと思ひます。

ありがとうございます。何度も感謝申し上げます。

Good evening. Fellow Rotarians, President Dozono, Past RI President Tanaka, and distinguished guests. Tonight, I want to talk about our bonds of service and friendship between our communities.

On the night of October 8th and 9th 2017, individual fire storms ravaged Napa, Sonoma and Mendocino Counties. Over 5,000 homes, businesses, and personal properties was lost and destroyed in District 5130. 89 lives were lost including our neighbors. 11 members of our Rotary Club lost their homes, Kathleen and I, Judy and Harry Coffey among them.

Immediately we heard from our friends in Kagoshima and Hiroshima ? members of Kagoshima West Rotary Club, Hiroshima Central Rotary Club, the Friends of Santa Rosa Association, the mayors office and City Hall, Kagoshima International University

A total of 84,000 USD was raised by Rotarians, City Hall employees, Kagoshima International University students, Friends of Santa Rosa Association, and the people of Kagoshima. That was incredible!!

33,000 USD went to Sunrise Rotary members (11 of us) who lost their homes. The remaining 51,000 USD went to a community foundation to help those less fortunate than us.

We were visited by an Asahi Shimbun reporter who chronicled the devastation and loss.

Mayor Mori from the City of Kagoshima visited and gave us over 4,000 USD raised by City Hall employees.

The support was heartfelt and unconditional.

We have rebuilt and we have persevered and stand before you in appreciation for all you have done for us on a personal level and our community at large.

And now we end on a note of congratulation to the National Baseball Team for winning the World Baseball Classic!! And Shohei Otani is the Babe Ruth of Japan!!

Thank you, Thank you, Thank you!!



国際扶輪3490地区
宜蘭扶輪社 社長

莊杉崎 P.Sam

堂園光一郎DOZONO Koichiro会長、各位扶輪先進及貴賓、鹿児島西姉妹社全體社友和賓眷、大家晚安、大家好！

欣逢 貴社創立六十週年紀念慶典的日子，六十歲是值得慶賀的，這一甲子的歲月滿載了歷史風華、文化能量，及許許多多的貢獻、服務與回憶。我謹代表宜蘭扶輪社全體社友，向 貴社獻上誠摯的祝福，並向 貴社說聲「生日快樂！」

貴我兩社於2013年3月23日鹿児島西扶輪社創立五十週年紀念典禮正式締結為姊妹社，歷經十年的合作與交流，兩社之情誼更臻堅實穩固。這份扶輪的友誼，真是難得的機緣與福份，此次承蒙邀請我們齊聚一堂，歡慶貴社六十週年大慶，內心感到非常溫馨與榮幸。

中日兩國以歷史、地理、人文概況而言可說是兄弟之邦，兩國人民更能保持文化經濟往來，貴我兩社結為金蘭，深信兩社社友，必能團結在國際扶輪宗旨之下，促進中日兩國國際間之瞭解，互相合作。貢獻我們的智慧和力量，做我們兩國國際間之橋樑，促進親善、友誼。並發揚扶輪崇高之理想與宗旨，以達到世界和平之共同目標。

本社此次親善訪問，承蒙 會長堂園光一郎DOZONO Koichiro暨全體會員熱誠接待，隆情厚誼，謹代表宜蘭扶輪社全體訪問團團員表示十二分的感謝。最後，祝賀鹿児島西扶輪社運昌隆、創立六十週年紀念典禮圓滿成功！各位嘉賓萬事如意！

鹿児島西ロータリークラブが創立60周年を迎えられますこと、心よりお祝い申し上げます。

堂園光一郎会長をはじめとし、鹿児島西ロータリークラブの会員の皆様の方のお喜びはいかほどかと存じます。薩長同盟締結150周年を記念して、下関東ロータリークラブの中で、鹿児島のロータリークラブと友好関係を結びたい気運が高まった結果、縁あって2017年貴クラブと友好関係を結ぶことが出来ました。

それ以降、海峡花火大会、ふく例会、ゴルフ等で、お互いに行き来することにより、友好を深めてきました。また、貴クラブを通じて、鶴岡RC、サンタローザサンライズRC、台湾宜蘭RCとも今回、友好を深めることができ、感謝しています。

クラブ運営の方法、高校生奨学金制度、フェイスブックを用いたホームページの活用など、私たち、下関東ロータリークラブにとって、弟分として参考になることばかりです。

今、貴クラブには、若い力が育っています。創立60周年を機会に、さらなる目標を掲げ、私の出身地である鹿児島の地域で、人々の役に立ち、尊敬されるクラブであり続けることを、ロータリー精神を歩む同士の一人として期待しています。

最後になりますが、会員の皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、お祝いの辞とさせていただきます。誠にありがとうございます。



下関東RC会長

吉利用和



RID2800 ガバナー

佐藤 孝子
(鶴岡RC)

鹿児島西ロータリークラブの皆様、貴クラブ創立60周年の輝かしい日を迎えられました事、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

鹿児島の名門クラブとして、数々の業績を重ねて来られました貴クラブの皆様には深甚なる敬意を表します。鶴岡ロータリークラブ創立6年目の齋藤栄作会長の時、貴クラブの土橋英夫会長との間で兄弟クラブの盟約を交わしました。今年で58年目になります。

貴クラブと鶴岡クラブはロータリーの友情によってのみならず、西郷南洲先生の遺徳によって強く結ばれて、両クラブは共に切磋琢磨し友情を深めつつ歩んで参りました。昨年5月10日の鶴岡ロータリークラブ孟宗汁家族例会に当時の貴クラブ小山光義会長、川畑宏二直前会長、染川周郎兄弟姉妹クラブ交流委員長3名が来鶴され、貴クラブ創立60周年記念式典へのお誘いのご案内を頂戴致しました。何かとお忙しい中ご来訪頂き、貴クラブの熱意と我がクラブに寄せて下さる思いに大変感激致しました。

ガバナー年度のお互いの地区大会開催日時が重なってしまい本当に残念でしたが、この創立60周年記念式典を楽しみにして参列させて頂きました。貴クラブの皆様から熱いおもてなしを受けて、ガバナーとして出席出来ました事、何よりの思い出となりました。

今後とも末永いご厚情を賜りますよう申し上げますと共に、貴クラブの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げお祝いの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

鹿児島西ロータリークラブの創立60周年に心より敬意と祝意を表します。

貴クラブは創立と同時に加治木RCをはじめ国内57クラブとアディショナルクラブの締結をして1989年にはRI5130地区米国カリフォルニア州サンタローザ・サンライズRC、2013年3月にRI3490地区台湾宜蘭RCと友好クラブ締結をなさり、幅広い活動をなさっておられます。これから益々素晴らしいクラブ活動をして下さいますことを心より祈っております。

貴クラブ益々のご繁栄を心より御祈念申し上げます。



RID2800 パストガバナー

藤川 享胤
(鶴岡RC)

講演「創立60周年に思う」

私のロータリーライフ

～1970年11月から2023年4月までの52年間～

My Rotary Life

創立60周年実行委員会 アドバイザー
古木 圭介



私の52年間のロータリー生活は、一言で「熱き友情に支えられた」52年間でした。その仲間たちに感謝しかありません。その友情は、クラブ内だけに限らず、兄弟姉妹クラブへと広がっていききました。まずはその紹介をしましょう。(要約)

最初に盟約を結んだのが、山形県の鶴岡ロータリークラブでした。

1965年(昭和40年)に締結。締結のきっかけは「戊辰戦争」(1868年)にまで遡り、明治新政府軍の大将・西郷隆盛が庄内藩を制圧したのちに、敗者の武士たちに手を差し伸べ、農業振興や教育などを残したことに由来しています。後に「徳の交わり」といわれロータリー精神にも相通じるところがあります。

それ以来、両クラブは周年ごとに往来して親睦を深めています。

次の盟約先は、米国カリフォルニア州のサンタローザ・サンライズRCです。

幕末、薩摩藩は西洋の文明を学ばせるため19人の武士たちを英国に密航させ、近代国家の礎となる人材育成を実行しました。その中に当時13歳の長澤鼎(ながさわかなえ)という少年がいましたが、後に米国に渡り、サンタローザの地でブドウ栽培を手掛け、「葡萄王」と呼ばれるまでになりました。その偉業を讃えて、彼の死後も尊敬をされ続けました。

現地の有志が「鹿児島友好協会」を設立し、1897年夏から青少年交換プログラムが開始されました。両クラブは姉妹盟約を1989年4月に締結し、国際奉仕と青少年奉仕のため支援をしています。

さらに、我がクラブ創立50周年に際し、玉川哲生会員の提言で、台湾の宜蘭RCとの盟約締結が行われました。これは明治時代に当時日本の植民地であった台湾の宜蘭県に知事として派遣された西郷菊次郎の偉業によるものです。菊次郎は西郷隆盛の長男で、その優れた政治力で宜蘭県に数々の素晴らしい政策を実施しました。



▲鶴岡RCとの兄弟クラブ締結50周年式典



▲サンタローザからの交換学生



▲盟約締結のために宜蘭RCを訪問

その中でも氾濫を繰り返す宜蘭川の治水事業は現地の農業振興に大きな成果となりました。その他に教育、病院などにも力を注ぎ、台湾の人々の尊敬を集めました。その縁で、記念すべき年に盟約締結ができ交流が始まり10年が経ちました。

そして2017年は明治維新150周年の記念すべき年を迎えました。その年に藤安秀一会員の提唱により、近代日本を共に築いた長州藩との縁でその年の10月、下関東RCと兄弟姉妹クラブの締結が行われました。九州とも隣接していることもあり、両クラブの交流は急速に深まっていきました。

我がクラブの歴史の中でも兄弟姉妹クラブとの関係は自慢できるものとなっています。

今回の60周年にもアメリカ、台湾をはじめ鶴岡、下関の仲間たちが75名も駆けつけてくださいました。我がクラブの過去の活動を少し紹介しましょう。

国際奉仕として、2005年ネパールの貧しいシルバリ村に乳牛33頭を贈ったプロジェクトには鶴岡、サンタローザのクラブも支援してくださりロータリー財団の「マッチンググラン」を活用して実施できました。

サンタローザとの青少年交換はコロナでの中断がありましたが、すでに36年の歴史を刻んでいます。

私個人のことで印象に残る活動として、2009年5月、30日間にわたりGSEのチームリーダーとして米国イリノイ州南部の第6510地区に派遣され楽しく、有意義な経験をいたしました。15のロータリークラブ例会に出席し、隊員4名と私は毎回、我が地区のロータリーの現状や地域の紹介をし、ロータリアンの家にホームステイし親睦の任も果たしてきました。

今でもその時に会ったアメリカの友人たちとメールのやりとりを続けています。

我がクラブの会員の結束の源は「学習会」にあると思います。

毎月1回、18時30分から2時間、例会では学べないことを先輩方から聴く機会や日ごろ疑問に思うことや、独自の意見をぶつけることでより深くロータリーを学び、さらに会員同士の親睦を深める機会になっています。

私は今では最も在籍年数が長い会員となってしまいましたが、生きている限りロータリアンでいたいと思っています。

会員はもとより、国内外で出会ったロータリアンに感謝し、この絆を大切にしたいと思います。



▲下関東RCとの親睦ゴルフ



▲ネパール訪問の旅



▲GSEイリノイ州視察



▲結束の源「学習会」

鹿児島西ロータリークラブ60周年記念フォーラム講演

未来のために

～ロータリーと私のストーリーテリング～

2023-2024年 RID2730 ガバナーエレクト 宮崎RC
池ノ上 克



鹿児島西ロータリークラブの創立60周年、誠にありがとうございます。このような折に講演の機会をいただき、大変光栄に存じます。私のロータリーとの最初の出会いは、約50年前の鹿児島西ロータリークラブでしたので、この度の60周年は自分が所属しているクラブのように嬉しく思います。(要約)



さて、今年の1月8日から12日まで、世界のガバナーエレクトを一堂に集めた国際ロータリー(RI)の協議会がフロリダ州のオーランドで開かれました。会議の冒頭で、次年度RI会長のゴードン マッキナリー氏は「Create Hope In The World:世界に希望を生み出そう」をテーマに掲げられました。その後、ロータリーに関する大小の会議が行われ、会員増強や基盤強化そして公共

イメージの向上など、様々なテーマについて討論が行われました。その中で、ロータリアンに求められる行動の一つに、自分の経験を話すストーリーテリングが強調されており、印象に残りましたので、本日はロータリーと私のストーリーテリングと副題を付けてお話をさせていただきます。

昭和45年3月に鹿児島大学医学部を卒業して、鹿児島市立病院産婦人科で研修を受けましたが、生まれたばかりの赤ちゃんが数多く亡くなっている現実を目にしました。産婦人科部長の外西寿彦先生に「このままでいいんでしょうか」と尋ねたところ「いやいかなのだ、君やるか」と言われたのが、周産期医療に進む切っ掛けでした。

産婦人科部長が所属しておられた鹿児島西ロータリークラブに推薦していただき、ロスアンジェルスハンチントンパークロータリークラブが受け皿となって、ロータリー財団奨学生として、南カリフォルニア大学産婦人科周産期医学部門への留学のチャンスをいただきま



▲南カリフォルニア大学産婦人科 マーチン教授と

した。

最初の1年目はロータリー財団からの奨学金で、2年目は南カリフォルニア大学からの給与をいただいて、合計二年半の留学を終えて、鹿児島市立病院に戻りました。

帰国直後の昭和50年暮れに五つ子妊娠と新生児管理のチームリーダーとして診療に携わることになりました。現在では5人とも立派な社会人として活躍しております。



▲無事に成長した五つ子の皆さん

ロータリーの財団奨学生としての先進施設への留学経験が大いに役に立ち、五つ子医療の成果を上げることができたと思っています。



その結果、鹿児島県での周産期医療への理解が進み、県全体の体制が整備されて、胎児や新生児の死亡率である周産期死亡率が改善され、今では全国でも良好な県となっています。また、鹿児島市立病院周産期医療センターは全国の若手医師たちが集まる高いレベルの研修の場としても活動しています。

平成3年1月に20年間勤務した鹿児島市立病院から宮崎医科大学に移り、宮崎県の周産期医療の整備と充実に当ることになりました。若い産婦人科医師の育成と宮崎県内の体制の整備を進め、それまで悪かった宮崎県の周産期死亡率は、現在では全国1,2の良好な成績で毎年推移するようになり

ました。

ロータリー財団奨学生として先進施設への留学が叶い、帰国後には産婦人科医としての職業を通じて地域社会へ奉仕することができ、目に見える形で実を結ぶことができました。

ロータリアンの皆様に50年前にいただいたご恩を心に抱きながら、現在も仕事を続けています。

平成8年からは宮崎ロータリークラブに入会して「はい、イエス、喜んで」を信条に活動に努めています。今年の7月からは国際ロータリー2730地区のガバナーを拝命しており、地区のロータリー活動の活性化に少しでもお役にたてるよう頑張りたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

本日はロータリーと私とのかかわりの一部をお話させていただきました。皆様のロータリー活動にとって、何かのお役にたてれば幸いです。



60周年記念フォーラム

2023年4月8日(土曜日)の鹿児島西ロータリークラブ60周年式典の
記念フォーラムにおいて、次の3部構成で若い世代の会員から
英語翻訳・通訳(軸屋麻衣子会員)も含めて発表がありました。

1部 鹿児島西ロータリークラブの活動紹介

(担当:寺田賢司会員、中馬輝彦会員)

RI戦略計画

【行動指針】《ロータリーのビジョン声明実現に向けて》

不変のもの 4つのテスト・ロータリーの目的・中核的価値観



行動計画 ①より大きなインパクトをもたらす ②参加者の基盤を広げる
③参加者の積極的なかわりを促す ④適応力を高める



ビジョン声明 私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身で持続可能な良い
変化をうむために、人びとが手をとりあって行動する世界を目指します。



鹿児島西ロータリークラブの概要

会員数:75名

創立:1963年3月23日

チャータークラブ:鹿児島ロータリークラブ

アディショナルクラブ:加治木ロータリークラブ(1967年)

加世田ロータリークラブ(1972年)

枕崎ロータリークラブ(1972年)

鹿児島城西ロータリークラブ(1986年)

[姉妹兄弟クラブ]

鶴岡ロータリークラブ(1965年～ 山形県)

サンタローザ・サンライズRC(1980年～ 米国カリフォルニア州)

宜蘭ロータリークラブ(2013年～ 台湾 宜蘭)

下関東ロータリークラブ(2017年～ 山口県)



提唱インターアクトクラブ:鹿児島高校インターアクトクラブ

提唱ローターアクトクラブ:鹿児島西ローターアクトクラブ

提唱プロバスクラブ:鹿児島西プロバスクラブ

最近の活動実績

- ・昨年度会員4名増
- ・今年度上半期5名増
- ・職場訪問
- ・会員卓話
- ・観月会
- ・クリスマス家族会
- ・賀寿の宴
- ・親睦ゴルフコンペ(年4回)
- ・鶴岡RC夜例会参加
- ・サンタローザRC例会参加
- ・宜蘭RC例会参加
- ・下関東RCふく例会参加
- ・4RC合同ゴルフコンペ
- ・4クラブ合同例会
- ・プロバスクラブ例会参加
- ・会員間グループLINE解説
- ・ロータリー賞受賞
- ・サンタローザ青少年交換プログラム
- ・玉江小野菜栽培活動に耕運機贈呈
- ・バリアフリー演劇鑑賞会協力
- ・ネパールプロジェクト推進
- ・米山記念奨学生受入
- ・ポールハリスフェロー \$56,981
- ・米山奨学金 1,216,630円
- ・学習会(毎月第1月曜日)
- ・新会員オリエンテーション
- ・クラブ活性化セミナー
- ・Facebookによる情報発信
- ・錦江湾横断遠泳AED贈呈(清水小・松原小)
- ・海岸美化プロジェクト
- ・ウクライナ人道支援金贈呈
- ・職業講演会(玉龍高校)
- ・鹿児島西ロータリークラブ賞授与
- ・職業選択フォーラム(鹿児島高校)



▲1部のプレゼンテーションする寺田賢司会員と通訳の軸屋麻衣子会員

2部 未来のための提言(もし私が会長になったら)

(担当:山田拓也会員、水流源彦会員)

会員の多様化

- ・会員平均年齢・・・・・・ 64.1歳 ⇒ 50歳
- ・女性会員比率・・・・・・ 5.3% ⇒ 30%
- ・外国籍会員比率・・・・・・ 0% ⇒ 10%
- ・障がい会員比率・・・・・・ 0% ⇒ 5%
- ・会員数・・・・・・ 75名 ⇒ 100名



例会の多様化

- ・現在：例会 月4回昼60分 年4回例会
- ・未来：例会 月3回昼90分 夜90分 他クラブ訪問1回
年数回の兄弟姉妹クラブ合同例会



活動の多様化

- ・伝統ある学習会⇒兄弟姉妹・他クラブとの共同学習
(鹿児島西RCアカデミー設立)
- ・ロータリー内の奉仕事業⇒市民・他団体、市・県・国との共同
(より多様で公平で開かれた奉仕事業)
⇒世界を変える革新的行動人
⇒多様な会員による多様な例会と活動⇒鹿児島西RCの可能性拡大
⇒ロータリー賞を連続受賞し、2730地区ガバナー、国際ロータリー会長を
輩出するクラブになります。



▲2部をプレゼンテーションする山田拓也会員



3部 まとめと御礼

(担当:有村春房会長エレクト)

- ・池ノ上克ガバナーエレクトへの謝辞
- ・創立：1963年3月23日
- ・チャーターナイト：1963年11月20日



◀3部を担当した有村春房会長エレクト

Photo gallery



来賓・招待者ご芳名

◆塩田 康一 鹿児島県知事
◆下鶴 隆央 鹿児島市長
◆田中 作次 元RI会長
◆池ノ上 克 講演者(ガバナーエレクト)
◆笹山 義弘 ガバナーノミニ
◆海江田 順三郎 パストガバナー
◆風呂井 敬 パストガバナー
◆大重 勝弘 パストガバナー
◆田中 俊實 パストガバナー
◆川原 篤雄 パストガバナー
◆安満 良明 パストガバナー
◆井福 博文 パストガバナー

◆押川 弘巳 パストガバナー
◆上野 欣一 ガバナー補佐
◆宮内 秀人 ガバナー補佐
◆森 孝晴 鹿児島サンタローザ友好協会 会長
◆西郷 隆文 鹿児島県薩摩焼協同組合会長
◆竹田 泰典 龍郷町町長
◆村山 健一郎 町長随行者
◆山田 怡如 通訳
◆松崎 正子 通訳(IBS外語学院)
◆徳留 由美 通訳(IBS外語学院)
◆PAN EI HTWE 元奨学生

吉田 悟 2024-25年度 会長
池田 大造 2024-25年度 幹事
活田 敬三 広報統括
石光 孝英 前会長・会員増強委員会
大塚 英明 親睦委員会
岡藤 喜昭 親睦委員会
岡藤 洋子 令夫人
上領 頼啓 ロータリー啓発情報委員会
木下 稔 直前会長
木下 秀子 令夫人
倉田 修三 前会長・財団・米山統括
小島 顯 職業奉仕委員会
小松 靖之介 前会長・クラブ管理運営統括
小松 美保 令夫人
榮田 昭徳 会計
嶋本 尚 親睦委員会

嶋本 弘子 令夫人
高山 龍夫 親睦委員会
富下 哲基 親睦委員会
古田 賢造 親睦委員会
松村 一穂 奉仕プロジェクト統括
宮内 弘昭 親睦委員長
本永 和正 親睦委員会
山口 拓志 前会長・SAA
吉川 潔 親睦委員会
四方田 新一 親睦委員会
四方田 千恵 令夫人
磯部 健一朗 親睦委員会
磯部 喜美江 令夫人
森本 亜希子 親睦委員会
牧 美智子 事務局

参加者ご芳名(姉妹クラブ)

鶴岡ロータリークラブ

朴 文秀
榎本 久静子 プログラム委員長
藤川 享胤 R財団委員会理事/RID2800パストガバナー
西川 富美子 会長
佐藤 孝子 RID2800ガバナー
佐藤 友行 クラブ管理運営委員会理事
菅原 成規 次期幹事
富樫 松夫 会員増強会員維持委員会理事
富田 喜美子 会長エレクト

サンタローザ・サンライズRC

Steve Amend 鹿児島友好協会 会長
Kathleen Amend
Dave Lorenzen
Shauna Lorenzen
Harry Coffey
Judy Coffey
Penny Miller
Paul O'Rear

宜蘭ロータリークラブ

莊 杉崎 2022-2023社長
阮 冠 社長夫人
李 汪澄 2022-2023秘書
頼 素英 秘書夫人

周 建亨 2010-2011社長
王 惠美 令夫人
周 家仔 御子息
黄 正智 2013-2014社長
陳 月釗 令夫人
陳 志超 2015-2016社長
陳 柏翰 ご令息
黄 博鈞
黄 政信
莊 朝雄
黄 寶珠 令夫人
王 盟堯
林 芷家 令夫人
林 聖芬 ご令嬢
頼 鶴文
駱 宏威
楊 若華

下関東ロータリークラブ

吉利 用和 会長
西山 玲子 幹事
河崎 嘉毅 副会長
河崎 ゆみ子 令夫人
中嶋 伸 2023-24年度 会長
新内 竜太 2023-24年度 幹事
井上 隆雄 2023-24年度 副会長

参加者ご芳名

宮崎県内ロータリークラブ

牛島 宏 (延岡RC)
山内 隆典 (延岡東RC)
金丸 宜裕 (宮崎RC)
鳥山 純代 (宮崎RC)
安達 龍大 (宮崎北RC)
薬王寺 文宏 (宮崎アカデミーRC)
石坂 乃里子 (えびのRC)
落合 精三 (都城RC)
田中 俊行 (都城北RC)
小坂 泰一郎 (都城西RC)

鹿児島県内ロータリークラブ

谷口 学 (鹿児島RC)
是枝 幸枝 (鹿児島RC)
池田 京子 (鹿児島南RC)
澤野 正幸 (鹿児島南RC)
田中 啓悟 (鹿児島東南RC)
渡海谷 宗宜 (鹿児島東南RC)
田中 和俊 (鹿児島中央RC)
松元 まや (鹿児島中央RC)
奥山 亮 (鹿児島西南RC)
本山 理美 (鹿児島西南RC)

時村 佳尚 (鹿児島城西RC)
内野 勉 (鹿児島城西RC)
中川 大作 (鹿児島東RC)
原田 祐子 (鹿児島東RC)
松枝 正隆 (鹿児島北RC)
濱田 比佐志 (鹿児島北RC)
水流 純大 (鹿児島サザンウインドRC)
森迫 直子 (鹿児島サザンウインドRC)
津曲 英彦 (鹿児島令和RC)
橋口 貴 (鹿児島令和RC)
馬場 昌範 (鹿児島大学アカデミーRC)
川原 結樹 (鹿児島大学アカデミーRC)
田浦 天志 (志布志RC)
嶽野 拓郎 (志布志RC)
杉本 尚喜 (出水RC)
山崎 隆夫 (鹿屋西RC)
前田 数郎 (鹿屋西RC)
檜八重 勝 (阿久根RC)
徳留 康治 (阿久根RC)
京田 一則 (阿久根RC)
岩澤 浩二 (加治木RC)
鈴木 俊二 (加治木RC)
坂元 勝 (加治木RC)
中村 泉 (RID2730
ジャパンカレントRC)

今柳田 幸代 (RID2730
ジャパンカレントRC)
西 幸司 (伊集院RC)
鮎川 和弘 (加世田RC)
工藤 博美 (加世田RC)
横市 秀文 (枕崎RC)
野田 真由美 (枕崎RC)
松本 龍 (川内RC)
瀬口 俊二 (川内RC)
村上 潤 (鹿屋RC)
吉留 幸文 (国分RC)

元鹿児島西ロータリークラブ会員

高山 義則 名誉会員
庵木 英雄 プロバス会員
江口 清隆 令夫人
江口 真美子 ご令嬢
七枝 敏洋

元鹿児島西ローターアクトクラブ会長

木房 知弓



60周年記念座談会

「この10年を振り返る」

出席者

51代会長 長柄 英男
53代会長 深尾 兼好
55代会長 藤安 秀一
57代会長 山之氏 秀行(欠席)
59代会長 小山 光義

52代会長 鮫島 信一
54代会長 天本 美信
56代会長 大山 康成
58代会長 川畑 宏二
60代会長 堂園 光一郎

司会 深尾 兼好

深尾 今夜は、直近10年度の会長さんに集まって頂きました。この10年の出来事を気軽に喋っていただきたいと思います。

まず51代(2011-12年度)の長柄さんからお願いします。幹事は亡くなった坂木さんでした。長柄さんの頃ですよ。財団の補助金システムが変わって、昔のWCS(世界奉仕活動)への補助が無くなって地区補助金・グローバル補助金が生まれました。

長柄 私はシステムがよく分からなかったんだけど、染川先生が、兎に角計画書を出せて、結構厳しかったんですよ。早い者勝ちだから、グズグズしてると取りはぐれるとか…でも結局、皆んなで分けたんだよね。

深尾 地区でも採めたんですが、結局、内容を満たしていれば、割れないよね、ということになって。

長柄 あのときには地区からも12月までにどうしても計画書を出せとか、うるさく言われました。

川畑 年度が始まってからでは遅いので。そうでしたよ。

深尾 地区に降りてくる補助金には地区補助金とグローバル補助金の2種類があって、地区補助金の方は、地区の裁量で使っていい資金だから、審査はそんなに厳しくない。だから、みんなで分けようという形になった



51代会長 長柄 英男



52代会長 鮫島 信一

で、補助金貰ったら報告書を必ず期限内に出せ。私の年度はAEDを施設に寄付したんだけど、ただ金を出して装置を贈ればいい、というだけじゃなくて、実際にロータリアンが現場に行って、その使い方を訓練しなきゃいけない、ということになってるので大変でしたね。

深尾 52代(2014-15年度)は鮫島さんですね。

鮫島 私の場合は、七枝君という素晴らしい幹事がついてくれて、うまくいったと思っています。私は鹿児市の医師会に所属していますので毎月会報が出るわけですね。その会報には毎月欠かさず出していましたから、あれを見ていただければ良く分かると思います。ロータリーの考え方については私が出版した「80歳はまだ若い」という本に書いてありますので、もし暇があったら読んで下さい。その本にも書きましたが、会長としての私の傍には常に七枝幹事がいました。彼は非常に出来る人で、私がやろうとしたことは、全て彼が動いて形にしてくれました。宜蘭に行った時もそうでしたね。

深尾 特に力を入れたのはなんですか？

鮫島 親睦を大事にするということでしょうね。バラバラではいけない、いろんな会がありますが、発展しないのは仲間意識という感覚が薄れているから。1つの組織(会)を作ったら、組織人として親睦を何よりも大事にしながら結束に努めるのが最も重要な責務だと私は思います。

深尾 「ロータリーの原点は親睦に有り」ということですね。そういえば、週報に「親睦と奉仕」といったロータリー論を掲載されたのは長柄先生じゃないですか？

長柄 それはね染川先生が熱心に教えてくださるわけですよ。もう失礼ながら忘れてしまったけれど、それを1年間やるのかと思ったらゾツとしましたね。だから、いろいろメモをとって自分の時になったらこういう風にやっという、と原稿は半分できあがっていたんですよ。それを前半やって、後半はもっと自由に書くようにしましたね。今の週報を拝見すると、洗練されてるなあと感じますね。今年の堂園先生は非常に素晴らしいですよ。

深尾 確かに週報に毎回書かなきゃいけないというのはちょっと荷が重いですよ(笑)。

ようですね。

長柄 補助金をもらうためには、セミナーに必ず1名は出席して、クラブの覚書(MOU)に署名し、地区に提出するという義務があったんだよね。勉強したよねえ。

長柄 それが重荷で会長になりたくないという感じもありましたね、正直(笑)。

深尾 次は私、53代(2015-16年度)となりますが、いきなり突飛な会長デビューとなりました。初例会がロータリーの友委員会の東京出張と重なったんです。就任挨拶と施政方針はビデオでやりました。今ならZoomというのがあるんですがね。当時はまだ一般的じゃなくて、窮余の策でしたね(笑)。

私がやろうとした最大の事業は、CLPの導入でした。実は山下ガバナー年度(2011-12年度)にCLPを全クラブに導入するという方針が決まりまして、言い出しっぱの鹿児島西RCが未だ導入は疎か検討もされていない。これは不味いぞ、ということになって、鮫島さんの時にCLP導入の検討を始めたんですね。

鮫島 山下PDGがかなり強硬でしたから検討委員会は置いたのですが、まあやっぱりCLPをやるのはその頃まだまだ問題が多いと感じましたね。

深尾 地区で各クラブにCLPを推奨していましたから、クラブに戻ったら自分がCLP導入検討委員長をやるしかなかったですね。かなり難しいと当初は思いましたね。特に長老の方々の反発が予測されて、「ロータリーの綱領に謳われた4

大奉仕を十把一絡げにして一つの奉仕プロジェクトにするなんてことがありえるか。CLPなんて議題にあげるな！」と言われてきましたからね。でも案ずるより

産むが易し。アドホック委員会として設置されたCLP導入検討委員会の答申が鮫島年度の総会で全会一致で可決されました。

それで私の年度からはCLPを導入したんです。「4つのテスト委員会」というのを4大奉仕の頭に据えて、奉仕の理念を学び、4大奉仕が連携して奉仕プロジェクトをやるということですね。

それと、折角開設された地区補助金を使わない手はない、と思って「4世代フォーラム」で80万円を申請、ありがたいことに受理されて、財団の活用法を実践しました。でも、鮫島さんが仰った通り会長は希望を言うだけ。実際に動くのは幹事なんです。私の場合、二郎ちゃん(内村幹事)が、何から何までやってくれたので、大胆な改



53代会長/司会 深尾 兼好

変でしたが上手く行ったと思います。

で、あまちゃん(天本会長)54代(2016-17年度)に引き継ぎました。

天本 会員数が減少傾向にあるなかでも円滑なロータリーの奉仕活動を推進するため、財源の見直しをしました。結果、事務局の体制を2名から1名へ削減することとなるのですが、これは心傷む作業でした。

長期間動めていただいた向井さんは、唯一PCの操作ができないという点を除き、会員の誰もがたよりにする有能な方でした。ですから送別会には大勢の会員が集まりその労をねぎらいました。

また、藤安さんを介して下関東RCより姉妹盟約を結べないかとの話をいただき、クラブ理事会で諮り、話を進めることが決まり、兄弟クラブである鶴岡RCへも出向き、盟約に向けた下準備を整え、藤安年度へ引き継ぐことができました。これらは、山之氏幹事なくては出来ないことでした。

深尾 下関東RCとの兄弟盟約は54代(2016-17年度)藤安さんの時ですね。

藤安 まず、前年度の1月か2月に懇意にしている下関の川崎さんから電話があって「実



54代会長 天本 美信

は明治維新150年を機に何かできないか?」ということだったので、「うちのクラブは厳しいかも、でも他に適当なクラブが無いなら」ということで天本さんに相談したんです。だから、お見合いが天本年度なんです。お見合いをして行き来しているうちに、どんどん仲が深まって、出来上がったのが兄弟盟約締結。

通常、姉妹盟約というのは、1会長年度ではなく1年半位はかかるんですよね。そういうことも含めて私の年度の10月か11月に兄弟盟約というのは早すぎて、どうなることかと心配しましたね。

でも、非常に活気のあるクラブということが分かりましたから、うちのクラブとしては、良かったんじゃないかなと思います。平均年齢は向こうのほうが高いんですが、非常にアクティブなクラブで交流を含めて縁を深めているわけです。それが私の会長年度の一番の思い出です。

それとクラブの会員増強。実際はどうなるかわからないとしても常に何人か候補はいます。さっきも車の中で1人決めましたからね。電話でね。私の年度だけで80名

達成は無理としても、その後、会員増強委員としても結構努力してきましたしね。この前4クラブ合同例会の時に思ったんですが、サザンにしろ、城西にしろ、会員がすごく少ない。

以前のサザンは非常に活気がありました。今は感じられないですね。うちはね、これ頑張ったなと自画自賛していますが、若手を入会させてきたんです。若い人たちが自然に溶け込んで、年齢の幅が広いクラブになっています。現役の社長は忙しいから無理と決めつけて何もしなければ平均年齢が74.5までいってしまいましたよ。若手を入れたことが功を奏していると思います。

深尾 西クラブの歌を例会で歌うようにされたのも藤安さんですよ。

藤安 ♪燃える心の桜島〜♪ 他のクラブにない自分たちの歌を持っているのであれば、もっとこの歌を大事にしなければいけない。鶴岡の60周年に行く時に練習をして、歌っているうちにだんだんいい歌だと思えてきました。作曲の鎌田先生はいろんな歌を作っておられますが、私の学校の先生でもあったんですよ。もう一つ、カリフォルニアの大火災がありましたよね。姉妹盟約を結んでいますから、長澤ワインが燃えたということで何か支援しなきゃ、と10,000ドルを寄付することにしました。その時は、そんな金どうやって集めるんだ、と批判も有りましたが、時間をかけて会費の中で徴収しようご理解をいただき、5年ぐらいかけて今、終わったんじゃないかな?

深尾 必要なときに、何を置いても支援をするのが姉妹クラブ。ということですね。当時幹事の小山さん、他には何が有りましたか?

小山 鹿児島市内グループのRYLAが4月にあったんですが、うちのクラブの担当で何度も打ち合わせをしました。開催が4月でしたから年度の最後まで気が抜けませんでしたね。

藤安 RYLAの時は深尾さん達といづろの重田酒店の2階でいろいろ話し合ったよね。2回ぐらい…。

小山 全部で7回しました。

藤安 黎明館でやったんだよね。

小山 会館でお弁当を取って、後払いのつもりでいたら現金でと言われ、途中で抜けてお金を下ろしに行きました(笑)。

あと幹事に成り立ての頃、前年度の天本会長、山之氏



55代会長 藤安 秀一

幹事にお世話になって、難しい細則の変更の時などは、土曜日に4人で集まって一緒に作成しました。お二人が居らしたことで気持ち的に凄く楽でしたね。

失敗もありました。第3地域ロータリーカードコーディネーターもなさっている山下PDGからクラブでロータリーカードを作る言われていたのですが作らないまま年度を終えてしまい大変申し訳ないことをしました。その代わりというわけではないのですが昨年からコーディネーターアシスタントとしてロータリーカードの普及活動を頑張っております(笑)。

藤安 今振り返ってみれば「結構やってるんだなあ」と改めて思いましたね。私はどちらかと言うと会長メッセージとか文章を書くのが嫌で嫌で、また書いてる暇もなかったんです。だから、原稿執筆を皆さんに振って。それやこれやで幹事の小山君には我儘を散々聞いてもらいましたから、今だに小山君には足を向けて寝られないんですよ(笑)。

深尾 藤安さんは「増強の藤安」と言われるほど地区で有名ですよ。『卓話に来て欲しい』と引っぱりだこじゃないですか?

藤安 今もね北海道から話があって「何処で聞いたんだろう?」と驚かされます。

小山 今度うちに入って下さる方も、「鹿児島西ロータリークラブにはどういう方がいらっしゃるんですか?」って聞かれたので「誰と誰と…藤安さん」と言うと「藤安さんがいるなら入ろうかな」と入会されました。

藤安 7、8人いますね。私が入れた藤安チルドレン。子供たちが、またたくさん連れてきてくれる。自分達の付き



合いの中で「ロータリーに誘いたいのですが?」と言って来るので。「いいんじゃないの?」で会員増強。そういう意味ではうちのクラブは活性化するんじゃないかな。

深尾 60周年祝賀会に、たくさんの方が来られたじゃないですか。皆さん、「西クラブはレベルが高すぎて真似ができない」と言っていました。若いメンバーの考え方、やり方は新鮮だしカッコいい。素敵ですね。うちのクラブの力を見直しましたよ。増強、要は新しい人材で補強してきたという事です。それは大きいですね。

藤安 能力が高いですよ。能力が高いからお願いすれば彼らは、それ以上の力を発揮する。この前も、出原さんが「私は何をしたらいいですか?」って言って来たので、丁度、表彰式の仕事があったのでお願いしたんです。女性だからって特別扱いしたらダメですよ。ロータリーに入会するということは女性も起業家、経営者ですから、男と同じように仕事を与えるのが大事だと思います。前村さんにしても英語が出来るから、そういった面で重宝する。うちには古木さんがいて南先生がいて、川畑君だっている。その他に何人も英語を話せる人がいるというのは、クラブの強みになりますね。言葉が壁になることも多いですから。

鮫島 この前、宜蘭に行きましたよね。眺めのいい所に日本と台湾との付き合いの「事始め」が書いたのが貼ってあるんですね。日本語と中国語と英語で書いたのが。これ地元の方も観光客も非常に喜んで下さっているみたいですね。

川畑 ウチのクラブの50周年の時に、もともと中国語で書かれたものを翻訳して作ったんです。



深尾 次の年度
2018-19年度は
56代大山さんで
すね。

大山 私の年度
はあまり沢山の事
をするのはやめよ
うということで、鶴

岡RCの60周年1本に絞ろうという方針でした。山形県
の鶴岡に家族ぐるみで鹿児島西RCからお祝いに行こ
う、ということをメインにしました。それだけで後は大した
事はやってないですね。

深尾 学習会があるんじゃないですか？

大山 いやいや、学習会は私が会長の頃は、そんなに
やってないですよ。学習会にはまったのは会長年度を終
えてからです。会長の時は鶴岡メインでした。

他には、家族の方々に「ロータリークラブの活動」を理解
していただきたくて、我々が日常取り組んでいる活動を
写真とかビデオとか使って記録しました。その映像を親
睦家族会とかで上映したりというのは、少しやったかな。
私の時にちょうど平成から令和に変わったんですよ。だ
から世間は騒がしかったのですが、コロナも何も無い時
で、楽しくやらせてもらいました。そしたら最後にロータ
リー賞の会長特別賞をもらったんですね。これにはびっ
くりしました。私は何もなかったんですが、幹事の有村
さんが、キッチリ報告やらデータ化など色んなことをし
てくれていて感激しました。

実を言うとして私は有村さんを全然知らなかったんですよ。
どなたかが幹事に薦めてくださったのだと思いますが、
今思うと感謝です。

小山 学習会の帰りに偶々エレベータの中です有村さん
に「有村さん幹事をしてよ」と言ったら「はい、分かりまし
た」って。「あれ？簡単に承諾してくれたなあ」とちょっと
吃驚でした(笑)。

藤安 会員歴は短いんだけど、彼は理論がしっかりし
てるから、やれたんですよ。私なんか幹事になるのに17
年かかった(笑)。

大山 有村さんも不安だったでしょうね。ロータリー歴も
浅いし。ましてや自分が補佐する会長(私)のことも全く
知らない訳ですから。いろんな役職をやってロータリー
をある程度理解していても幹事は難しいと言われる中
で、よく幹事の務めを果たしてくれたと思います。ほんと
に驚きでしたね。ロータリー会長賞ゴールドは有村さん
のお陰。私は知らなかったので表彰式にも出てないん
です。



56代会長 大山 康成

小山 有村さんがちゃんと貰ってこれましたよ。「増強
のところがクリア出来てない」とか仰って。ずっとチェック
されていたましたし。

深尾 幹事さんって大事なんですよ。全部動くのは
幹事さんだから。私は内村君に白羽の矢を立てて「幹事
受けてくれなきゃ会長しない」って脅しましたよ(笑)。
内村君はホントに凄い。気が利くし、几帳面だし、よく動
く。クラブの事業は、全部彼が段取りしてくれましたから
ね。最後の最後に二人で会館に交渉に行き、「じゃ、
明日本番よろしくね」と別れたすぐ後に事故にあって…
内村君に感謝状を3枚くらい贈りたいくらいです。

鮫島 どの年度も幹事がいい仕事をしますよね。

天本 私は川平会長から「お金と人事は幹事の仕事。
俺は人の前で挨拶をするのが仕事だから」と教えられま
した(笑)。

深尾 さて次は2019-20年度57代山之氏さんなんです
が、60周年事業の前から体調を壊されて副実行委員
長を大山さんに託されました。今日は欠席です。

大山 私の後、山之氏さんの年度は大変だったです
ね。コロナでいろんな判断しなきゃならなかったから。

藤安 大変だったよね。全部新しいケース、前例のない
事だから。事あるごとに、一つずつ自分で決定しなきゃ
ならないから大変だったと思いますね。

堂園 私は山之氏年度の幹事なんですが、2019年の
暮れからコロナが流行りだして、これがどういう感染症
なのか想像がつかず、すぐ治まるのか長期に渡るのかも
全くわからない状況でしたから、会長は大変だったと思
います。感染状況をニュースで見て、地区の対応を聞い
て、ロータリーの会合を如何するか、常に悩まれていた
のを見えています。もちろんその頃はまだコロナがどんな
ものか分かってなかったし、確かに今考えると初期のコ
ロナは肺炎になり重症化していましたし、休会は賢明だ
ったのかなと思います。山之氏会長は、天本年度の幹事
としてクラブの運営と積極的に取り組まれ、組織の仕組
みとか事業計画とかしっかり把握されていましたから、コ
ロナという最悪の事態の中で、やれる範囲での最高の活



動をされたと思います。

大山 例会を中止にするって簡単じゃないですよ。私
は川畑年度の研修委員長でしたから、学習会を中止に
するか、しないかは悩みました。やらない理由を考える
んじゃなくて、やるためにどうすればいいかというのを考
える。私的には夜の飲み会を会社では禁止しているの
に、自分だけロータリーで酒の入る会合をやっているの
かなと。それでも皆さんに声を掛けながら、一回だけ酒
を出さなかった学習会をやったんですが、その時は不
評でした(笑)。

深尾 2020-21年度は58代川畑さんの時代に。コロナ
禍も山之氏さんから川畑さんに引き継がれました。

川畑 私の年度は初めてのケースのオンパレードでし
て。日本のロータリーの100周年、とスペイン風邪以来
100年ぶりという新型コロナの世界同時パンデミック。コ
ロナは山之氏年度から始まっているんですが、それが私
の年度では、第2、第3、第4と3波続きました。2021年と
いうのはmRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンが輸入
される前の年度でしたので全くどうなるか分からない状
態でしたね。あとカレンダーでいうと第一回例会が7月1
日に始まり6月30日が最終例会。年度が水曜日に始まり
水曜日で終わった稀有なケースでした。

最初の第1回例会はコロナの感染者数がある程度落ち
着いてきて、いいスタートが切れたなと思った途端、その
日の夕方、天文館でクラスターが発生しまして、第2回の
例会の直前に山形屋が休館になったんですよ。例会場
が使えない「さてどうしよう」ですよ。幹事の菊永さんと
相談し、緊急事態宣言も蔓延防止措置も出ていないな
らクラブの判断でいい。「こんな場合オンラインです」

「こんな場合休会にする」という基準を初めに決めてい
ましたから、とりあえず代わりの例会場を押さえたんです
ね。第2回目はかごしま県民交流センターでやりました。
第3回目はジェイドガーデンパレスでやって第4回目から
山形屋に戻ったんですね。その時にパーティションを準
備しました。初めてのことでしたね。

これも初のケースでしたが、会長エレクト研修セミナー
(PETS)。当初3月に予定されていましたが2回延期に
なって、ついには中止になって個別研修になりました。

深尾 前代未聞だね。PETSを受けないと会長に就任
できない、という決まりだから、大変だったでしょうね。

川畑 在宅で配付された資料一式を熟読・視聴し、自
己申告することで

修了証書が授与
されるという前例
のない幕開けにな
りました。

事業としては、学
習会が丁度500回
目を迎えるので、
何か記念になる事
をしたい、出来れ

ば三木明直前RI理事・日本のロータリー100周年実行
委員長に記念講演をお願いできないかと思って、学習
会の大山委員長、山下PDGを通じてお願いしたら、何と
三木さんが姫路から9時間かけて来てくださったんで
す。「温故知新 日本のロータリー100年、新たな100年
に向かって」のテーマでお話しをしてくださいました。
当初、懇親会をセットで考えていたんですが、結局懇親
会は止めて学習会だけ予定通り行いました。コロナ



58代会長 川畑 宏二

感染が心配される中、風呂井ガバナ―他、地区役員や系統クラブの方々にも参加して

頂きました。感謝です。

年度当初、例会とは別に2カ月に1度、懇親会をやるつもりでした。でも流石に懇親会は開けなかった。でも例会とは別に会食として観月会を城山でやりました。それからクリスマス家族会、これも規模を小さくしてやりました。賀寿の宴が前年度中止になっていたので前年度の方々も含めてやりました。

例会は後半、菊永幹事のご努力でハイブリッド方式にしましたが、計画していた全て、48回の例会をすべてやり、12回の学習会も全て実行しました。

深尾 後を引き継いだのが小山君だっけ？2020-21年度、59代会長です。幹事は田中藤雄君。

小山 私の会長年度はですね、川平先生に言われたんです。「良かったね59代で。60周年は何もしなくていいがね」って、でも、全然違いました(笑)。私の年度に初めて女性会員が入会しました。初めての女性会員ということで会員の皆様に「女性会員が入会しますが宜しいでしょうか？」とお伺いをたてましたね。丁度オリンピックの時、女性を拒否していた霞ヶ浦カントリークラブが、女性メンバーを認めるという記事が新聞に載ったりして。うちのクラブでも反対はなくスムーズに入会式を迎えられました。

先ほど藤安さんが週報の事を言われていましたが、天本さんと藤安さんの年度に、会長メッセージを毎週書くのをやめられて、ちょっとホッとしました。1回、2回ならいいんですが、毎週となると書くことが無い、週報が苦にな



59代会長 小山 光義

りますからね。川畑さんのように本にするほどのロータリー論なんてとても書けないし。コロナ感染拡大への対応は、川畑年度が休会なしで対応されましたが、私の年度は、お盆前に田中幹事から「蔓延防止等重点措置が発令されたけど、どうする？」と電話がかかって来て、あまり考えないで「じゃ、休会にします」と、あっさり休会にしました。夏場に1ヵ月半、その後1月の終わりから2ヵ月休会にして、会員の皆さんと会えないのは寂しいんですが「週報を書かなくていいな」と、ホットした気持ちもありました(笑)。

地区補助金を使つての活動については、錦江湾横断遠泳をやっている清水小学校にAEDを贈ることにしたんですが、松原小学校も遠泳をやってまして松原小学校にもあげようということで。私の同級生だった清水小学校の校長先生と話をしていました。その途中に校長先生が転任になって話が途切れ、松原小学校に先に贈呈することになりました。そしたら、それが新聞に載って、前の校長先生から「小山さん、裏切られた感じだけど。松原小学校にあげて」といわれ、「いやいや、清水小学校にも差し上げますよ」という事もありました(笑)。

深尾 いよいよ最後です。60代(2022-23年度)会長は



堂園さん、幹事は永田君です。

堂園 ギリギリなんで思い出とかはまだないんですが、ロータリーもこの10年で変わってきました。CLPとか規定審議会などもルールがずいぶん変わりました。平たく言えば緩めていこうということでしょうか、今までのガチガチのルールからどんどん変わって来ています。私から見ると各年度の会長さんがアダブテーション出来ているように感じない。RI本部や地区から言ってくる事に対して、会員さんたちの反応にギャップを感じていたので、私的には一会員としてその時の会長に「どうなってんんですか？」と詰め寄ったことがありました。

今考えるとロータリーの事を早く吸収しようと精一杯だったんですね。ロータリーを通して世の中の状況や自分の考え、行動が見られる。ありがたい事なんですよ。組織がしっかりしているという事にびっくりしました。そういう事でロータリーが自分の為になったと感じています。最初、長柄先生に誘われてロータリーに入って半年したら長柄年度になったんですね。本来ならば私が運転して会長を送って行くのが当たり前なんですが、私は長柄先生にずっと運転させてしまいました(笑)。最初VTT(職業研修チーム)がありました。担当が川畑さんだったのかな？

川畑 クラブじゃなくて地区の財団の委員会の委員だったんです。

堂園 その時、外国の人と身近に接する事が出来るんだなと思いました。私の所にも台湾からのVTTのお客さん、医療関係者だったので深い話も出来て良かったです。

あと、ロータリーアクトの40周年をやりました。ロータリーアクトについては楽しくやれたかなと思っています。自由にやらせて、良い考えを引き出してやるということを中心にやっていましたから上手く行ったのかなと思います。初めはロータリーアクトだけでもやっていけるように感じましたが、一つ一つの過程を見ていくとやはりロータリーのバックアップが良かったと思います。

深尾 40周年までは活気がありましたね。まず人数が多かった。それがあっという間に消えてしまいました。ロータリージャパンの委員会に出ると、「何で？何で？」とよく聞かれますよ。

堂園 今度、新しいアクトをリセットします。無くなったら無くなったでいいし、無くなったことにプレッシャーを感じるよりも、また新しく始めればいいと。

鹿児島西RAの元メンバーの木房さんに全国大会に行ってもらって、全国はどうなっているのか見てきてよ、とお願ひしました。一応我々の公費を使っていくので青



60周年記念座談会「この10年を振り返る」

少年月間の卓話で報告をしてもらおう事になっています。

深尾 みんなロータリアンがロータリーアクトとどうやって付き合うのが分からなくなってきました。いきなり対等になっちゃって。今まではロータリーがアクトの面倒を見て指導していたのに、対等になったら、どうしたらいいか誰も解らないのが現状ですよ。

堂園 今後のロータリーアクトがどうなるか、これをスタートアップにして鹿児島から発信できたらいいかもしれません。

深尾 一応10年間、一通り終わりました。あと、記念誌に残しておきたいのは川平先生のこと。本当にお世話になったし、あんなにロータリーが大好きな人はいなかった。

川畑 内科医なのにヘビースモーカーでしたよね(笑)。

小山 私がロータリーアクト委員長の時に毎週出て来られるんですよ。私がまだまだ未熟だと思われたのか、いつも能力指導して頂きました。

川平先生が最後に「ロータリークラブは仲良しクラブじゃないんだよ」と仰ったのが、頭に残っていますね。地区代表の福永千裕君が、会場の変更を川平先生に伝えてなかった事がありました。一度ならず二度までも。そしたら、川平先生から「もう来ません」というメール。「一緒に行ってやるから、ちゃんと謝りなさい」と叱って連れて行ったんです。私はちょっと用があつて、午後7時



60代会長 堂園 光一郎

位に福永君を残して帰ったんです。翌日「昨日何時迄かかった？」って聞いたら「午前2時でした。」と(笑)。まあ、だけど、ちゃんと指導してもらったから彼も地区代表の重

職を無事務められた。

川畑 川平先生はロータリーの定款、細則から、ロータリー章典までを厳守することに信念を持ってらっしゃいました。整理魔ってというか活動の記録、整理が徹底していて、イベントの翌日には必ずA4サイズ1枚にまとめて関係各所に配付されていました。

深尾 ファイルをメールで送って頂くんですが、写真をトリミングしてワードで器用に編集してプリントアウトして送って来られるので、転載ができず「データください」って言った事がありましたね。ぐちゃぐちゃな資料も綺麗な資料にしてくださるので有り難かったですね。



深尾 他に未だまだいろいろあるかと思います。自由にご発言ください。

私は、この10年で一番変わったのは財団システムだと思うんです。寄付するだけじゃなくて人道支援に地区でも財団資金が使えるようになりました。各年度の会長さんも地区補助金を活用されていますが、私はもっと高額グローバル補助金を使おうとしました。2016年にカンボジアを訪問し、医療システムの改善を支援しようと現地のRCと協議し、あと一歩まで行ったのですが、コロナで中断、未だに達成できていません。もう一度初めからやり直したいですね。

小山 私の年度では、女性会員の入会が認められたのが大きかったですね。

深尾 昔のロータリーでは、女性会員の件は、話題にすると言われていましたよね。話題にすると議題として審議しないといけないから。CLPも一緒、これはもうお話しにならないという感じでした。

小山 他クラブでは、女性会員が入って辞めた方もおられたと聞きました。

藤安 城西ロータリークラブの会員はそれで半分になったみたいですよ。

小山 うちの母親に話したら「お父さん(チャーターメンバー小山幸義氏)も反対だったよ」(笑)。

長柄 CLPはね。僕が会長の時も、かなりPETSで言わ

れましたね。でも反応は鈍かった。

藤安 昔からのメンバーは頑固だから、女性の入会もCLPも受け付けない。あれだけロータリーに一生懸命だった高山先生も四大奉仕でいいんだ。と言い切っておられましたからね。

長柄 私は若い力に注目しています。60周年の式典の時、有村チーム・山田君が「もし私が会長になったら」ってやったでしょ。あれは結構興奮したね。それを英語でも解るようにしたのも良かった。藤安さんが入れた藤安チルドレンは優秀ですね。クオリティが高い。若い人達に頑張ってもらいたい。もうじいさん達はいいから。

藤安 他のクラブは若手が入って来てない。平均年齢が上がってきてる。もうこれは老害みたいになっている。とにかく平均年齢を下げないとクラブに活力が無くなります。これは良くない。

蛟島 老害の1人ですが、まあ、暫く付き合ってください。その位の気持ちでやってます。やっぱり若い人の方が良いでしょうね。

深尾 いやいや「80歳は現役」ですよ(笑)。クラブが若返って、発想に柔軟性が生まれると、何か新しい事を起こそうとしますよね。その時にロータリーの本質、原点というのが置き去りにされそうな気がするんです。ロータリーとライオンズは違う。我々は職業を通じて社会に貢献していく。若い人の感覚にロータリーとライオンズの区別が無い。もしかしたら良いことかもしれないですが、ロータリーがロータリーで無くなるのは寂しいですね。

天本 若いつもりでいるんですが、もう70過ぎましたからね。前にしゃしゃり出たりしないで、聞かれた時に協力する。じいちゃんが孫を見るような気持ちで触れ合っていきたいなと思っています。歳は関係なく、学び合い、認め合うと言う気持ちでやっていけばいいですよ。

藤安 ロータリーを楽しくするのは、自分の気持ち次第だと思います。私も70だから「清掃にいきましょう」「はい喜んで」というのは無理があるので、「やってくれてありがとう」と自分が出来ない事をやってもらったら感謝する。それがロータリアンではないかなと思いますね。

大山 今年は60周年という大きなイベントがあって、それぞれ役割があったんですが、そこに若い人達を割り当てていきました。皆さんかなり意識が高いから、その仕事を見つけてあげれば後は自分で考えてやっていけるんですね。これだけいろんな職種が揃ってる組織ですから、あれだけの企画を組めたと思います。こんなことができるのは、我がクラブだけですからね。その先は他のクラブを巻き込んで何かをやる情熱集団であって欲しいと思います。

深尾 クラブが若返るだけでなく、我々だって進化していかないと。体が動かないだけで、頭はまだまだ若い…

つもり(笑)。

川畑 私は会長年度を終了した時、「2020-21年度会長挨拶集」という小冊子を出版したんですが、玉川先輩が冊子の序文で、「ロータリーというのは、桶の中にいろんな芋があって、土のついた芋、皮がついた芋、そういう芋同士が擦れあって土が取れ、皮が剥け、きれいな形になる、それがロータリーじゃないか」と書かれているんですね。世代を超えてロータリークラブの魅力を感じてもらうようにやっていかないといけない。そのためには親睦の喜び、学ぶ喜び、奉仕の喜び、喜び楽しさを感じてもらえるようなクラブに育ていかないといけないかなと思います。

大山 玉川さんで思い出しましたが、イベントのお土産作りをやっていて玉川さんが「俺もするから」とすごく楽しそうに袋詰めをされてですね。こちらとしては「座っていて下さい」と言いたかったんですが、本人がすごく楽しそうで他の人たちもみんな楽しそうで。面倒臭い袋詰め作業なんですけどね。この雰囲気は鹿児島西RCだなと思いました。

天本 みんな参加して、同じ事をして、がいいんだよ。

小山 やっぱり人数というのも大事なと思ひまして。うちのクラブを説明する時に「鹿児島西RCは鹿児島で



1番会員の多いクラブです」と言えばPRしやすいですよ。

それとこの間、堂園先生が学習会で「皆さんはいいクラブ、いいクラブっていうけど自分のクラブをいいクラブというのは可笑しいですよ」と言われたんですが、後になって「西ロータリークラブはいいクラブですね」と本人が仰って(笑)。自分のクラブを良いクラブだと言えるのは凄く幸せなんじゃないかなと思いました。

堂園 今日は皆さん会長の経験があるので同等に話しておられますが、若い人は同等には喋れないですよ。そういう若い人達も同等に喋れるクラブ作りをしていかないと伸びないのではないかなと思います。その中から積み上げてビルドアップですね。そうしていかないとRI本部から情報を受け継いでも消化不良になってしまいます。顧客経験というのが企業には大切と言われます。顧客がどう思っているのか、クラブのなかでも若い人たちはどう思っているんだとやっていけば我々も変わる。最近の企業の一つのやり方、ロータリーも企業に寄ってきてるような感じがしますのでヒントにならないでしょうか。

— 終 —

2013 - 2014 (H25-26)年度 / 51期



会 長
長柄 英男



幹 事
坂木 貞剛 (故)

鹿児島西ロータリー・クラブ年代別 理事・役員・委員会構成

会 長	長柄 英男
副会長	鮫島 信一
幹 事	坂木 貞剛
副幹事	七枝 敏洋
理 事	日高 好久・染川 周郎・平野 次秋・庵木 英雄・大山 康成
SAA	竹下 威
副SAA	海江田 嗣人・菊永 昭二郎
会 計	須田 正己
会計監査	徳留 忠敬

クラブ奉仕	鮫島 信一	社会奉仕	平野 次秋
会員増強/維持	迫田 英介	ロータリー賞	鮫島 信一
会員選考/職業分類	久保 真介	国際奉仕	庵木 英雄
出 席	坂元 利郎	米山記念奨学	七枝 敏洋
家族/親睦	田中 藤雄	新世代	大山 康成
情報	中園 雅治	ローターアクト	鮎川 吉弘
会報/雑誌	上之園 正幸	インターアクト	山元 将孝
広報/IT	三木 武幸	ロータリー財団	玉利 賢介
プログラム	藤安 秀一	CLP検討準備	深尾 兼好
職業奉仕	日高 好久		

役員・理事
委員会・委員長

2014 - 2015 (H26-27)年度 / 52期



会 長
鮫島 信一



幹 事
七枝 敏洋

会 長	鮫島 信一
会長エレクト	深尾 兼好
幹 事	七枝 敏洋
幹事エレクト	内村 二郎
理 事	原 正親・藤安 秀一・大山 康成・天本 美信・山下 皓三
SAA	小山 光義
副SAA	菊永 昭二郎・萩原 徹
会 計	川畑 宏二
会計監査	染川 周郎

クラブ展望/CLP検証	鮫島 信一	社会奉仕	大山 康成
プログラム	古木 圭介	国際奉仕	南 徹
ロータリー賞	深尾 兼好	青少年ライラ	大山 康成
家族/親睦	原 正親	ローターアクト	堂園 光一郎
鶴 岡	染川 周郎	インターアクト	山元 将孝
サンタローザ	南 徹	広報/IT	川村 保夫
宜 蘭	玉利 賢介	会報/雑誌	三木 武幸
会員増強	居迫 大作	ロータリー財団	山下 皓三
出 席	庵木 英雄	米山記念奨学	内村 二郎
職業奉仕	山之氏 秀行		

役員・理事
委員会・委員長

主な活動

- 西郷菊次郎顕彰碑の解説看板の贈呈(宜蘭)。50周年事業でしたが、実施が今年度にずれ込みました。5月中旬の除幕式に玉川さん、古木さんら多数参加し、宜蘭RCとの親交も深まりました。
- 障害者施設にAEDを贈る。地区補助金を得て4か所の障害者施設へAEDを寄贈し、職員の皆さんに救急蘇生についての訓練を受けて頂きました。
- 高校生へ奨学金を贈る。当クラブがインターアクトクラブを提唱する鶴丸、鹿児島高校の計6名に奨学金を贈りました。
- ロータリー賞の贈呈。40年間の長きにわたり児童通学保護員を務めて頂いた田中信義さんが表彰されました。
- 職場の献血事業の後援。エルセルモグループの献血事業に協力しました。
- VTTのメンバーに和田哲哉さんを推薦しました。
- 職場訪問は岩元会員のカクイックスウィングを訪問し優良従業員の表彰を行いました。
- ロータリーEクラブ 2730 ジャパン・カレントのスポンサークラブとなったこと。既に規定の会員数に達しRIの認証申請を行ったようです。深尾、川平両会員が活躍されました。
- 「鹿児島西ロータリークラブの歌」の再定着を行った。50周年で発掘された楽譜で歌うことができるようになり、ホームページへ動画をアップした。
- 2500回記念例会。川平建次郎元会長の卓話などで盛り上がりしました。



▲AED救急蘇生訓練



▲105回 国際大会(シドニー)

第51代会長 長柄 英男

主な活動

私は平成26年7月1日から平成27年6月30日までの1年間鹿児島西RCの会長を務めさせて頂きました。幹事は七枝敏洋さんで良い仕事を沢山してくださり助かりました。

台湾の宜蘭クラブ発足60周年記念式典は宜蘭県知事や宜蘭市長等政財界の有力者多数集まる中、日本からは鹿児島西RC会員や家族28名も参加して盛会でありました。さらに当日は「西郷菊次郎の徳政碑」の横に日本語、英語、中国語の三か国語による解説掲を寄贈して、除幕式を行いました。

鶴岡RCとは兄弟盟約を結んでおりますが、丁度50周年と記念すべき年度となり、記念式典に鹿児島西RCを代表して参加しました。

例会での会長挨拶は定番でありますので、慌てないように毎回事前に準備しました。資料は後日まとめて「八十歳はまだ若い」と小冊子にしました。会員からはお礼の言葉を沢山頂き嬉しかったです。

事務職の加藤洋子さんは小生の会長時の採用ですが、健康に恵まれ、仕事にも慣れ、皆に好かれて大助かりです。頑張ってください。

第52代会長 鮫島 信一



▲田中俊實2730地区カバナー公式訪問



▲田中カバナーとバナー交換



▲クリスマス家族会

▲クリスマス家族会で挨拶

2015 - 2016 (H27-28)年度 / 53期



会長
深尾 兼好



幹事
内村 二郎

鹿児島西ロータリー・クラブ年代別 理事・役員・委員会構成

役員・理事	会長 深尾 兼好
	会長エレクト 天本 美信
	幹事 内村 二郎
	幹事エレクト 山之氏 秀行
	理事 原 正親・藤安 秀一・大山 康成・三木 武幸・山下 皓三
	SAA 小山 光義
	副SAA 菊永 昭二郎
	会計 川畑 宏二
	監査役 染川 周郎

委員会 ／ 委員長	プログラム	上之國 正幸	ローターアクト	堂園 光一郎
	クラブ研修	川平 建次郎	インターアクト	坂元 利郎
	ロータリー賞	天本 美信	4世代フォーラム	南 徹
	親睦/家族萩原	萩原 徹	広報/IT	川村 保夫
	兄弟姉妹クラブ	古木 圭介	会報/雑誌	坂本 貞剛
	会員増強	秋葉 重登	ロータリー財団	山下 皓三
	出席	濱善一郎	米山記念奨学	山之氏 秀行
	4つのテスト	山元 将孝	GP推進	川畑 宏二
	プロバス	高山 義則		

2016 - 2017 (H28-29)年度 / 54期



会長
天本 美信



幹事
山之氏 秀行

役員・理事	会長 天本 美信
	会長エレクト 藤安 秀一
	幹事 山之氏 秀行
	幹事エレクト 小山 光義
	理事 原 正親・秋葉 重登・大山 康成・三木 武幸・山下 皓三
	SAA 菊永 昭二郎
	副SAA 海ヶ倉 浩文・萩原 徹
	会計 川畑 宏二
	監査役 染川 周郎

委員会・委員長	プログラム	日高 好久	ローターアクト	深尾 兼好
	クラブ研修	宮原 英仁	インターアクト	川本 篤勇
	ロータリー賞	藤安 秀一	IM/アドホック	大山 康成
	親睦/家族	有村 春房	広報/IT	川村 保夫
	兄弟姉妹クラブ	古木 圭介	会報/雑誌	寺田 賢司
	会員増強	迫田 英介	ロータリー財団	長柄 英男
	出席推進	海江田 嗣人	米山記念奨学	小山 光義
	4つのテスト	田中 藤雄	GP推進	川畑 宏二
	プロバス	庵木 英雄		

主な活動

2015年7月1日 新年度初例会を東京出張(ロータリーの友地区代表引き継ぎ)のため欠席。就任挨拶を映像にて行い、HPに「今どきのR用語」「カゴンマの神さあ」を掲出。組織づくりとしてCLPの導入を図った。

①4つのテスト委員会を設置、奉仕プロジェクトの連携を図る

職場訪問・従業員表彰・職業選択フォーラム・職業卓話

②クラブ戦略計画を推進するため展望委員会を設置「世界と話せるクラブ」をクラブビジョンに設定

事業としては、2016年2月『吼えろ!薩摩の誇りを取り戻せ』をテーマに「第6回4世代フォーラム」を実施。基調講演/池口恵観会員(別格本山清浄心院住職・大僧正)。パネルディスカッションのコーディネーターは南 徹実行委員長。当クラブはこれを「ロータリーデー」と位置づけ、めだかの学校の池田博之氏にロータリー賞を贈った。

ついで「鹿児島市内分区分Intercity Meeting」を主管。『天職について考える』をテーマに、基調講演/久保田茂会員(宮崎北RC)の講演とパネルディスカッションを実施。更に2016年5月には、地区では初めての「系統クラブ拡大学習会」を川平建次郎実行委員長の主導で、中村靖治RLIファシリテーター委員長を招き



◀第6回4世代フォーラム

めだかの学校 池田博之氏に▶
ロータリー賞を贈呈



▲系統クラブ拡大学習会

鹿児島西ローターアクトクラブ▶
40周年 キャップアート



『元気なクラブの作り方』講演を実施、引き続き「450回記念学習会」も行った。

最後に「鹿児島西ローターアクトクラブ40周年」。堂園光一郎RA委員長の指導で見事なキャップアートが披露された。

第53代会長 深尾 兼好

主な活動

●クラブ目標を「退会防止と会員増強」と掲げ、実行策として「オープングスト」を設け予算を組み全員で取り組んだ。

●例会で「5分間スピーチ」を取り入れ、会員間の親睦を図った。

●大きく会員増が望めない場合に備え、これまで通りの予算が組めるよう体制の見直しを図り、事務局を一人とした。

●下関東RCよりクラブとして国内初の姉妹友好クラブを結びたいと打診があり、鶴岡RCの理解を得、友好の輪を広げる準備を整えた。

●鹿児島市内分区分インターシティミーティングを担当。IMアドホック委員会をつくり会合を重ね12月10日黎明館にて開催。102名の参加を得る。

●規定審議会があり、定款・細則の見直し作業を藤安会長エレクト、小山幹事エレクト、山之氏幹事と共に実施。

第54代会長 天本 美信



鶴岡RC クラブ訪問▶



◀下関東RC
クラブ訪問で挨拶



下関東RC▶
クラブ訪問



▲第2回系統クラブ拡大学習会

2017 - 2018 (H29-30)年度 / 55期



会長
藤安 秀一



幹事
小山 光義

鹿児島西ロータリー・クラブ年代別 理事・役員・委員会構成

役員・理事	会長	藤安 秀一
	会長エレクト	大山 康成
	幹事	小山 光義
	幹事エレクト	有村 春房
	理事	寺田 賢司・内村 二郎・堂園 光一郎・田中 藤雄・川畑 宏二
	SAA	宮原 英仁
	副SAA	菊永 昭二郎・萩原 徹
	会計	中国 雅治
	監査役	秋葉 重登

委員会／委員長	プログラム	鮎川 吉弘	ロータリーアクト	永田 健吾
	クラブ研修	大橋 義則	インターアクト	本蔵 高德
	ロータリー賞	大山 康成	ライラドボック	南 徹
	親睦/家族	上園 慎一郎	広報/IT	久永 忠範
	兄弟姉妹クラブ	古木 圭介	会報/雑誌	坂木 貞剛
	会員増強	秋葉 重登	ロータリー財団	長柄 英男
	出席推進	中村 英幸	米山記念奨学	有村 春房
	4つのテスト	川村 保夫	GP推進	深尾 兼好
	プロバス	久保 真介		

2018 - 2019 (H30-31)年度 / 56期



会長
大山 康成



幹事
有村 春房

役員・理事	会長	大山 康成
	会長エレクト	山之氏 秀行
	幹事	有村 春房
	幹事エレクト	堂園 光一郎
	理事	田中 藤雄・山下 皓三・天本 美信・久永 忠範・川畑 宏二
	SAA	菊永 昭二郎
	副SAA	高木 博文・布袋 嘉之
	会計	中国 雅治
	監査役	内村 二郎

委員会／委員長	プログラム	新穂 恵	プロバス	海江田 嗣人
	クラブ研修	宮原 英仁	ロータリーアクト	永田 健吾
	ロータリー賞	山之氏 秀行	インターアクト	本蔵 高德
	親睦/家族	山田 拓也	広報/IT	中馬 輝彦
	兄弟姉妹クラブ	古木 圭介	会報/雑誌	上之園 正幸
	会員増強	南 徹	ロータリー財団	長柄 英男
	出席推進	上園 慎一郎	米山記念奨学	堂園 光一郎
	4つのテスト	米山 裕之	GP推進	深尾 兼好

主な活動

国内2つ目(全体で4つ目)となる下関東ロータリークラブとの兄弟クラブ締結が前半最大の行事でした。私が下関東RC川崎会員の申し出を受け理事会で諮り、前年の天本・山之氏年度に何度かの交流を行い下地を作っていた後、10月14日サンロイヤルホテルでの締結となりました。

後半では市内開催の担当であったRYLAが大きな山場でした。12月から6回の打合せを重ね4月28日の本番を迎えました。我がクラブが今までやってきた「4世代フォーラム」を基に池口恵観会員の基調講演、南会員をコーディネーターとしたパネルディスカッション等、素晴らしいイベントになったと思います。その後の報告書作成など年度末まで気の抜けない1年でした。

その他でも、実質5名の会員増強、学習会参加者20名、10月には観月会。台湾VTT来鹿、11月職業選択フォーラム、12月クリスマス家族会、1月鹿児島酸素職場訪問、2月下関東RC「ふくの会」、姉妹クラブであるサンタローザ大火災への義援金1万ドル拠出などの活動を行いました。

第55代会長 藤安 秀一

下関東RC
兄弟盟約調印式



▲総勢78名が参加した調印式



▲4世代フォーラム

4世代フォーラムでの
池口恵観会員の基調講演



主な活動

- インターアクト提唱高校 鹿児島高等学校訪問
- 系統クラブ拡大学習会
- 展望委員会
- 世界ポリオデー例会
- 職業選択フォーラム
- 合同例会(鹿児島・鹿児島中央・鹿児島西RC)
- 合同例会(鹿児島城西・鹿児島サザンウィンド・鹿児島西RC)
- 鶴岡RC訪問(創立60周年記念式典参加)

第56代会長 大山 康成

■鶴岡RC60周年訪問の旅

2019年4月19日から34名で創立60周年を迎えた鶴岡ロータリークラブのお祝いに出掛けました。

記念講演は、元RI会長のグチャイ・ラタクル氏(元タイ国副首相など歴任94歳)。鶴岡RCのバスターガバナー藤川享胤さんのお力で超ビッグな講演者をお招きされ、ローターの精神や活動などを分かりやすい言葉で60分余り話されました。

式典では60年間の歴史を振り返り、功労者への感謝状などの贈呈もありました。鹿児島西RCの祝辞は大



▲総勢34名で駆けつけた鶴岡RC創立60周年



▲懇親会ではオペラ歌手による素晴らしい演奏が披露



▲会場を沸かせた
大山会長のエール



▲印象的だったまだ雪深い島海山

山会長のエールで会場を大いに沸かせました。

懇親会では美味しいお酒と料理がふるまわれ、オペラ歌手と素晴らしいピアノ演奏などが披露。台湾や日本全国から集まった兄弟姉妹クラブの仲間たちとの親睦の輪も大いに深まりました。

兄弟姉妹クラブ交流委員会 古木 圭介

2019 - 2020

(R1-2)年度 / 57期



会 長
山之氏 秀行



幹 事
堂園 光一郎

鹿児島西ロータリー・クラブ年代別 理事・役員・委員会構成

役 員・理 事	会 長	山之氏 秀行
	会長エレクト	川畑 宏二
	幹 事	堂園 光一郎
	幹事エレクト	菊永 昭二郎
	理 事	布袋 嘉之・藤安 秀一・田中 藤雄・久永 忠範・深尾 兼好
	SAA	高木 博文
	副SAA	岩元 文雄・有村 春房
	会 計	内村 二郎
	監査役	長柄 英男

委 員 会・委 員 長	プログラム	小山 光義	プロバス	天本 美信
	クラブ研修	宮原 英仁	ローターアクト	山田 拓也
	ロータリー賞	川畑 宏二	インターアクト	新穂 恵
	親睦/家族	濱崎 和久	広報/IT	久永 忠範
	兄弟姉妹クラブ	古木 圭介	会報/雑誌	上之園 正幸
	会員増強	寺田 賢司	ロータリー財団	鮎川 吉弘
	出席推進	佐藤 元彦	米山記念奨学	菊永 昭二郎
	4つのテスト	外西 茂	GP推進	永田 健吾

主な活動

- サンタローザ交換学生5名来鹿
- 喜島健一郎ガバナー公式訪問
- 宜蘭ロータリークラブ6名来鹿
- 系統クラブ拡大学習会開催
- 地区補助金を利用し中洲児童クラブに印刷機を寄贈
- 鹿児島市と鶴岡市兄弟盟約50周年式典が城山ホテルであり出席
- 鹿児島西ローターアクトクラブのOB・OG会が開催
- 下関東ロータリークラブの55周年夜間例会へ出席
- 鹿児島高校にて職業選択フォーラム
- 職場訪問(米盛病院)
- 20/3/4~20/3/18 コロナ感染拡大のため休会
- 20/4/1~20/5/20 コロナ感染拡大のため休会
- 20/4/16 臨時の「鹿児島西ロータリークラブ通信」第1号を発行した。この後3号まで発行
- 20/5/27 例会再開
- 鹿児島高校生2名に奨学金贈呈式

第57代会長 山之氏 秀行



▲喜島ガバナー公式訪問



▲鶴岡市兄弟盟約50周年式典に出席



▲臨時の「鹿児島西ロータリークラブ通信」を発行



▲中洲児童クラブに印刷機を寄贈



▲下関東RC55周年で挨拶



▲鹿児島高校奨学金贈呈式

2020 - 2021

(R2-3)年度 / 58期



会 長
川畑 宏二



幹 事
菊永 昭二郎

役 員・理 事	会 長	川畑 宏二
	会長エレクト	小山 光義
	幹 事	菊永 昭二郎
	幹事エレクト	田中 藤雄
	理 事	高木 博文・藤安 秀一・中村 英幸・天本 美信・深尾 兼好
	SAA	有村 春房
	副SAA	堂園 光一郎・岩元 文雄
	会 計	長柄 英男
	監査役	染川 周郎

委 員 会・委 員 長	プログラム	布袋 嘉之	プロバス	山之氏 秀行
	クラブ研修	大山 康成	ローターアクト	山田 拓也
	ロータリー賞	小山 光義	インターアクト	荒殿 一洋
	親睦/家族	濱崎 和久	広報/IT	久永 忠範
	兄弟姉妹クラブ	古木 圭介	会報/雑誌	天本 美信
	会員増強	中馬 輝彦	ロータリー財団	鮎川 吉弘
	出席推進	米山 裕之	米山記念奨学	田中 藤雄
	奉仕活動推進	新穂 恵	GP推進	永田 健吾

主な活動

- 7月1日(水)~6月30(水)のフル年度で48回の例会、12回の学習会をリアル開催(年度の社会情勢や世相を幅広く反映した12回のゲスト卓話を含む)
- 500回記念学習会を開催
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)パンデミック拡大年度(第2~4波)
 - ー PETSと地区研修協議会のリアル開催が中止となり自習型式となる
 - ー 例会場での検温・消毒、パーティション設置、オンラインのハイブリッド方式を導入

■500回記念学習会について

1978年8月24日に鶴鳴館で始めて以来42年間、西クラブの伝統として続く学習会が通算500回に達することを記念して2020年8月8日にエルセルモ鹿児島において第500回記念学習会を開催しました。学習会では、記念講演の講師として「日本のロータリー100周年実行委員会」委員長でありガイ・ガンデカーの「A Talking Knowledge of Rotary」の訳書「ロータリーの日常の知識」の著者でもある元RI理事の三木明PDG(姫路RC)をお迎えし、「温故知新・日本のロータリー100周年、新たな100年へ向かって」というテーマで質疑応答を含む約1時間の講演をいただきました。



▲地区役員委嘱状伝達式



▲500回記念学習会



▲鶴岡RC 藤川享胤PDGの飛び入り参加



▲観月会



▲玉龍高校での特別講義「職業講演会」



▲クリスマス家族会

コロナ禍での感染拡大期でしたが、大山康成クラブ研修委員長の綿密な計画と用意周到な準備、山下皓三PDGの支援のもと多くの会員のご協力、風呂井ガバナーはじめ地区役員や系統クラブ、RA会員にも参加いただき、日本のロータリーの100年の歴史と、国際ロータリーの未来に向けて変化することを学ぶ絶好の機会となりました。

第58代会長 川畑 宏二

2021 - 2022 (R3-4)年度 / 59期



会 長
小山 光義



幹 事
田中 藤雄

鹿児島西ロータリー・クラブ年代別 理事・役員・委員会構成

会 長	小山 光義
会長エレクト	堂園 光一郎
幹 事	田中 藤雄
幹事エレクト	永田 健吾
理 事	久永 忠範・有村 春房・新穂 恵・山田 拓也・米山 裕之
SAA	中馬 輝彦
副SAA	荒武 貞夫・諏訪園 匠・和田 秀一郎
会 計	藤安 秀一
監査役	深尾 兼好

プログラム	有馬 戦男	奉仕活動推進	寺田 賢司
クラブ研修	大山 康成	プロバス	山之氏 秀行
ロータリー賞	堂園 光一郎	ローターアクト	濱寄 和久
親睦/家族	北野 公朗	インターアクト	鮎川 吉弘
鶴 岡	染川 周郎	広報/IT	天本 美信
サンタローザ	古木 圭介	会報/雑誌	萩原 徹
宣 間	玉川 哲生	ロータリー財団	長柄 英男
下関東	藤安 秀一	米山記念奨学	永田 健吾
会員増強	岩元 文雄	GP推進	深尾 兼好
出席推進	日高 好久		

役員・理事
委員会／委員長

主な活動

- 玉龍高校職業選択セミナー
- 松原小AED贈呈式
- 清水小学校AED贈呈式
- クリスマス家族会
- 賀寿の宴
- 職場訪問 鹿児島市南部清掃工場
- 下関東RCふく例会
- 合同例会(城西、サザンウインド、令和、西)
- 鹿児島高校奨学金授与式

※60周年関連打合せ多数実施

クラブ初の女性会員を迎え入れた年となりました。軸屋会員、前村会員が12月に入会くださり鹿児島西ロータリークラブにとって大きな変化の年となりました。現在、6名の方々が活躍されています。実を言えばチャーターメンバーだった父は男性だけのクラブでという考えだったようでした。しかし、新しい方々によって会員増強が進み活性化している現状を思い入会していただき良かったと改めて思います。2021-2022年度は特に玉川会員、古木会員、藤安会員の力



▲新聞に掲載された
松原小学校水泳同好会へのAED贈呈



▲下関東 RC ふく例会へ出席



▲初めての女性新入会員

により全体で11名の入会がありました。退会者もおられ実質6名の増強でしたが右肩下がりだった会員数が回復する転機の日だったと思います。

地区補助金を使った7月の松原小学校、清水小学校水泳同好会へのAED贈呈は新聞に掲載されました。

コロナの影響で二度のまん延防止等重点措置により合計3カ月間休会となったことは残念でした。しかし、5月以降に集中したIM、ロータリー奉仕デー、地区大会、RLI等に多くの方々の協力をいただいたのは大きな喜びでした。

第59代会長 小山 光義

2022 - 2023 (R4-5)年度 / 60期



会 長
堂園 光一郎



幹 事
永田 健吾

会 長	堂園 光一郎
会長エレクト	有村 春房
幹 事	永田 健吾
幹事エレクト	久永 忠範
理 事	濱寄 和久・田中 藤雄・新穂 恵・山田 拓也・米山 裕之
SAA	中馬 輝彦
副SAA	岸本 圭市・宮川 博次・東 和宏
会 計	藤安 秀一
監査役	長柄 英男

プログラム	有馬 戦男	出席推進	寺田 賢司
クラブ研修	大山 康成	奉仕活動推進	日高 好久
ロータリー賞	有村 春房	プロバス	山之氏 秀行
DEI	堂園 光一郎	ローターアクト	諏訪園 匠
親睦/家族	水流 源彦	インターアクト	北野 公朗
鶴 岡	染川 周郎	広報/IT	和田 秀一郎
サンタローザ	古木 圭介	会報/雑誌	萩原 徹
宣 間	玉川 哲生	ロータリー財団	松田 武泰
下関東	藤安 秀一	米山記念奨学	久永 忠範
会員増強	荒武 貞夫	GP推進	深尾 兼好

役員・理事
委員会／委員長

主な活動

- ①よりインパクトをもたらす:地区補助金活用「玉江小学校に伝統野菜栽培用の耕運機贈呈」、西ロータリークラブ賞「特定非営利活動法人自立生活センターてくてく」支援金贈呈、日本赤十字社ウクライナ支援義捐金贈呈、鹿児島高校奨学金授与
- ②参加者の基盤を広げる:オープンゲスト招待(4名)、外部ゲスト卓話(3名)既存会員・新入会員のロータリー体験(10名)、会員増強(女性会員2名、男性会員5名、家族会員促進中)、継続事業の展開、海岸の清掃活動(赤レンガ海岸)
- ③参加者の積極的なかわりを促す:玉龍高校青少年奉仕活動「卒業生に学ぼう」、職場訪問「鹿児島市交通局」、My Rotary新規登録拡大、メディア発信(南日本新聞3回)、HP・グループラインによる情報発信、60周年記念式典へ姉妹兄弟クラブ(4RC)表敬訪問
- ④適応力を高める:委員会での活動計画発案(トップダウンではなくボトムアップを目指す)、バリアフリー演劇を通してのDEIを学ぶ。(障がい者にとって有益なものは健常者にとっても有益である)

人間の知力は元来、人間力であり未来のために使うべきもので60周年式典のテーマでもあります。多様性はいろいろな角度からお互いを認め合うことです。



▲宜間RC表敬訪問



▲玉龍高校青少年奉仕活動「卒業生に学ぼう」

2022-23年度RI会長ジェニファージョーズはロータリーにやりがいのあるクラブづくりを求めました。やりがいとはどのようにして生まれるか、この1年間の経験を経て、それは「親睦(フェロウシップ)の深化」に答えがあると気付かされました。親睦の歴史と言えるものは、一夜にして出来上がるものではなく絆が作り上げた「親睦の深化」と言えます。

玉龍高校青少年奉仕活動「卒業生に学ぼう」へのお手伝いは、新たに立案された青少年奉仕です。今年で3回目を迎えたこの奉仕活動は、青少年奉仕としてはロータリー奉仕活動の中では現在最大の活動になっています。選任された玉龍高校卒業生(6名)の社会人が高校1年生を対象に授業を行い、その総合学習授業の進行を我々ロータリアン(6名)がサポートする奉仕活動です。講師は就職や職業への思いなどを講話するが、その際に一緒に我々ロータリアンも加わって授業行う形で構成されています。各担当のロータリアンの職業観も織り交ざり、高校生、講師、ロータリアンでディスカッションが活発に行われ、そのやり取りは教育現場から好評を得ています。

第60代会長 堂園 光一郎

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



海江田 卓
2013年4月19日逝去
享年85歳
在籍30年8ヶ月



山元 正明
2013年7月18日逝去
享年89歳
在籍8年



岩切 豊
2014年10月24日逝去
享年64歳
在籍15年7ヶ月



居迫 大作
2015年1月9日逝去
享年54歳
在籍3年2ヶ月



太原 春雄
2015年2月9日逝去
享年93歳
在籍37年8ヶ月



鉾之原 大介
2020年1月24日逝去
享年62歳
在籍23年6ヶ月



川平 建次郎
2021年2月16日逝去
享年81歳
在籍36年11ヶ月



村田 和雄
2021年6月9日逝去
享年86歳
在籍40年



玉利 賢介
2022年10月29日逝去
享年78歳
在籍29年5ヶ月



岩田 泰一
2023年1月10日逝去
享年86歳
在籍40年6ヶ月

■退会後のご逝去



小山 幸義
2014年1月14日逝去
享年83歳



中川 宏
2014年10月26日逝去
享年76歳



木治屋 克己
2018年3月6日逝去
享年86歳



坂本 貞剛
2019年6月5日逝去
享年81歳



須田 正巳
2019年8月逝去
享年68歳



岩元 基
2021年2月6日逝去
享年86歳



水流 洋
2022年2月2日逝去
享年89歳



水淵 清治
2022年5月4日逝去
享年94歳



ロータリー賞贈呈受賞者紹介
2014-2023

ROTARY AWARDS

表彰状

田中 信義 さん
武小校区で40年にわたり児童通学保護員を全う。今なお「田中のおっちゃん」と慕われ、辞職後も後進の指導に当たっている。

第48回(平成26年3月19日)

田中 信義 さん

武小校区で40年にわたり児童通学保護員を全う。今なお「田中のおっちゃん」と慕われ、辞職後も後進の指導に当たっている。

ROTARY AWARDS

表彰状

メダカ救出作戦、生息調査、またコンサートや写真展、シンポジウムなど、楽しい集会を通して自然の大切さを発信してきた。

第50回(平成28年2月21日)

NPO法人
メダカの学校かごしま
理事長 久本 勝紘 さん

メダカ救出作戦、生息調査、またコンサートや写真展、シンポジウムなど、楽しい集会を通して自然の大切さを発信してきた。

ROTARY AWARDS

表彰状

日中保護者がいない児童に対して14年にわたり児童保育を実践され、働く保護者を支援。本年は第2クラブまで立ち上げた。

第52回(平成30年3月28日)

中洲児童クラブ

支援員 井上 智子 さん

日中保護者がいない児童に対して14年にわたり児童保育を実践され、働く保護者を支援。本年は第2クラブまで立ち上げた。

ROTARY AWARDS

表彰状

炊き出しや夜回り、料理会、法律・福祉・医療相談といった支援を重ねる。特ににぎり配布は、10年以上で62,300個におよぶ。

第54回(令和2年3月23日)

NPO法人
かごしまホームレス生活者
ささえあう会

炊き出しや夜回り、料理会、法律・福祉・医療相談といった支援を重ねる。特ににぎり配布は、10年以上で62,300個におよぶ。

ROTARY AWARDS

表彰状

昭和5年から90年以上の長きにわたり毎朝の登山とラジオ体操を続け、城山展望台に愛着をこめて清掃活動を行ってきた。

第56回(令和4年3月23日)

鹿児島市
城山登山会

昭和5年から90年以上の長きにわたり毎朝の登山とラジオ体操を続け、城山展望台に愛着をこめて清掃活動を行ってきた。

ROTARY AWARDS

表彰状

社会福祉法人「善き牧者」の運営する児童養護施設 愛の聖母園
施設長 小牟田 久美子 さん

第49回(平成27年3月25日)

社会福祉法人「善き牧者」の運営する児童養護施設 愛の聖母園
施設長 小牟田 久美子 さん

長きにわたり親代わりの「奉仕と教育」に携わり、18歳で施設を出た子供にも援助を続け、手の届きにくい心のケアを続けてきた。

ROTARY AWARDS

表彰状

当事者支援団体「ここほっと」
理事長 小園 公子 さん

第51回(平成29年3月22日)

当事者支援団体「ここほっと」
理事長 小園 公子 さん

子連れ再婚家庭、シングルマザー、DVや性的被害者等、悩みを抱えた女性弱者をサポートし、社会の理解を求める活動を行ってきた。

ROTARY AWARDS

表彰状

NPO法人 南薩のまなざし
代表理事 石堂 修一 さん

第53回(平成31年3月20日)

NPO法人 南薩のまなざし

代表理事 石堂 修一 さん

神話の舞台となった南薩の歴史を深掘りする活動や祭りの開催は、地域の交流人口を増やすユニークな取り組みとして評価された。

ROTARY AWARDS

表彰状

NPO法人
テニスネットかごしま

第55回(令和3年3月24日)

NPO法人
テニスネットかごしま

テニス指導を通して、子供たちの健全な育成と地域の方々の健康増進を促し、地域のコミュニティづくりを実践してきた。

ROTARY AWARDS

表彰状

特定非営利活動法人
自立生活センターてくてく

第57回(令和5年3月22日)

特定非営利活動法人
自立生活センターてくてく

障害のある人々が自立した生活を営んでいくための支援や暮らしやすいまちづくりに必要な事業を行い、福祉の増進を図った。

地区出向者報告①

地区の活動を通じての思い出

山下 皓三

2011年10月突然、鹿児島西RCから2012-13年度のガバナーを推薦することになり、クラブ会長経験者会が2回開催され私に白羽の矢が当たってしまいました。理由は直近でガバナー補佐をしていたことでした。当時まだ現役の開業歯科医として両立ができるのかと非常に悩みましたが、鹿児島西RCと地区は私の提案を認めてくださり約束を信じてお引き受けすることにしました。クラブと地区は期待通りこたえてくださり素晴らしい経験をたくさんさせてもらいました。

通常、ガバナーになるにはガバナーノミニー、ガバナーエレクトの研修を経て2年間の準備期間がありますが、クラブはそれを半年間でやってくさいました。2012-13年度のRI会長は田中作治氏で身近に感じ34地区のガバナーと楽しく、無事にガバナー年度を終えることができました。この経験を通じて鹿児島西RCがロータリーの理念を理解し一つのチームとして活動をしている素晴らしいクラブであったことに感謝しています。また、その伝統がクラブ創立60周年式典にも引き継がれていたことを証明してくれました。



▲2012-13年度RI会長田中作治ご夫妻と

地区・地域での出向役職

2010～11	第2730地区ガバナー補佐
2012～13	第2730地区ガバナー
2013～	第2730地区バスターガバナー
2017～	第3地域 ロータリーカード・コーディネーター
2017～19	第3地域 公共イメージ・コーディネーター補佐
2019～22	第3地域 公共イメージ・コーディネーター

地区出向者報告②

地区出向10年間の報告

深尾 兼好

■広報・雑誌・IT委員長として

地区への出向は、天本美信地区広報・雑誌・IT委員長の引きくというか乗せられて委員会卓話、いきなり2007-08年度副委員長、その後3年間は委員長として地区の広報改革に着手。HP運営費を人頭分担金とした天本委員長の後を受け管理をガバナー事務所から広報・IT委員会に移管。散逸、崩壊していた地区アーカイブスの保存、活用に着手、またRI広報補助金を活用して、全クラブ活動紹介パネルの制作〈2007-08年度〉。2011-12年度には、ラジオを使ったロータリー広報を企画した。

また2011年にはJR九州新幹線開通に伴う沿線イベント「九州縦断リレー」を福岡・熊本・鹿児島3地区連携で計画、出水、川内、鹿児島中央駅でロータリー広報イベント「神話の邦パフォーマンス」を地区アクトメンバーと一緒に制作したが、本番前日、「東日本大震災」が勃発、中止の憂き目をみた。



▲神話の邦パフォーマンス

■地区幹事・ロータリーの友地区代表として

そんな中、2011年11月、規定の期間が過ぎてもガバナーエレクトが決まらず、已む無く山下皓三ガバナー補佐がガバナー就任を受諾。またまた青天の霹靂、いきなり地区幹事に指名され、地獄の苦しみ味わうこととなった。更に伊藤年度に任命されたロータリーの友地区代表委員を一年置いて再び兼務。東京、大阪を往復して「友」の運営に携わることとなり地区への出向が定着化してしまった。

「友」地区代表委員は2010から1年休んで4年間務め、その後再び2018年から3年、計7年務めることとなった。まず、最初は「ロータリーの友を読もう」ブログの開設と掲出を役務に取り込んだ。山下ガバナー年度は地区組織を大幅に変更し、PDGをリーダーとする管理部門と活動家を委員長とする運営部門に分離、相互の情報交換の場として地区運営委員会を設置。CLP支援のためのDLPへの改編を行い、ガバナー補佐の権限も強化された。ガバナー公式訪問には、ガバナー補佐以外に正副幹事が同行することを慣例化、副幹事の役割分担を明確にした。事務局が安定するにつれ地区運営も順調に推移し、ガバナー月信の表紙絵の作画やクラブ訪問でCLPの卓話を実施する余裕も生まれた。

そして迎えた2013年11月10日・11日「地区大会」。RI会長代理に竹腰兼壽PDG、RI研修セッションモデレーターに黒田正弘PDG、深川純一PDG、田中毅PDG、小船井修一PDGという日本を代表する壮々たるメンバーを迎え成功裏に終了した。会場内には広報館を開設し、地域の「匠」の行動展示やRIの広報画像紹介、市民講座としてNHKの星野真澄氏の講演も行った。クラブの50周年と重なった超過激な一年であった。



▲ロータリーボイス

■Eクラブ開設準備委員長として

翌、大迫年度は、ガバナーが九州初のEクラブ開設を提案、2014年1月29日、勉強会席上で即決、開設を示唆、ガバナー指名によりEクラブ開設準備

委員長を引き受けることとなった。年度内開設ということで時を経ず行動に移し、2月16日には委員会を発足させ、特別代表を長峯基PDGに依頼、クラブ名を「ジャパンカレントロータリーEクラブ」と命名した。

チャーターメンバーの中心となることが予想されたロータリーアクトOBに働きかけ、チラシ、WEBで地区内各クラブに会員紹介をお願いしたが、一向に反応がなく、サイトの立ち上げ、コンテンツの作成、仮クラブ申請と準備は予定通り進行する中で、定数を確保できたのは申請ギリギリとなった。RI日本事務局の助言と協力を受け、6月RI理事会に申請。2014年6月28日、大迫年度を3日残してRIより認証状が届き無事、九州初のEクラブが誕生した。



▲Eクラブ認証状伝達式



■地区研修委員長として

2014-15田中俊實ガバナー年度は、川平建次郎地区クラブ研修委員長の後を受け委員長に復帰、クラブ研修リーダーの登録を求め、2014年9月に山下皓三地区研修リーダーによる「会長幹事のためのCLP研修セミナー」、2015年2月には三木明RI研修リーダーを招き「研修リーダーのための研修セミナー」、2015年5月には二神典子ロータリーの友編集長を招き「広報委員と新会員の為の研修セミナー」も実施した。「地区でロータリーを学ぶ」研修委員会の活動方針の具現化である。

また田中年度では地区大会でRLIが地区の支



▲広報委員と新会員の為の研修セミナー

援事業として採択され、クラブ研修委員会がその実施を担当すること、となったため、秦喜八郎RLI委員長、田村智英RLI日本支部役員から第2期RLIの運営委員長を受託、鹿児島市内分區に運営委員会を組織してパートⅠ～Ⅲすべての準備運営を取り仕切ることとなった。

■RLI運営委員長として

RLIの経緯は2008～9年度地区諮問委員会の上承を基に、秦、伊藤年度を経て、長峯年度に地区の正式なRLI委員会が発足、予算化され、山下、大迫年度を経過。田中年度の鹿屋市における地区大会においてRLIを地区で推進していくことが大会決議として採択された。当初RLIの運営は、田村智栄RLI地区代表の呼びかけで、有志に他、地区のRLIに参加して頂き、RLI-DL(ディスカッション・リーダー)として10数名のメンバーを任命、2014年4月、都城市にて第1期パートⅠ、を開催、翌年1月に全課程満了、第1期が終了した。参加者の評価も良く、一応の成果を上げたことから、継続的な実行組織として運営委員会を組織化、当初は鹿児島、宮崎両県交互での実施を決めた。

第2期は鹿児島市で、運営委員長は深尾兼好、副委員長は故 川平健次郎で実施され、パートⅢは野中年度にかかったが無事満了。野中年度に第3期を、宮崎RC鳥山会員を委員長として宮崎日大高校で実施。同様に、大重年度に第4期を鹿大農・獣医学部、押川年度に第5期を宮崎日大高校、そして、川原年度には、全課程の終了者も増え、DL養成のため、日本支部から中村靖治RLIファシリテーター委員長を迎え「DL資格取得のためのセミナー」を実施、この頃からRLIの運営、DLの養成に中村PDGご助力を仰ぎ、RLIの評価が飛躍的に高まったと意識している。鹿大農・獣医学部で第6期。更に喜島年度では、山下PDGのご尽力で地区予算の配分を受け、登録料を6000円から一挙に1000円に減額、クラブ負担の軽減化が図られ、第7期は、山下RLI委員長の助言で鹿児島、宮崎両

県での開催となり、川平建次郎会員が統括委員長、深尾が鹿児島担当委員長、宮崎が鳥山浩委員長で実施した。ところが第7期に入ってコロナ感染拡大により、パートⅢ・鹿児島分は断念。積極的に地区の各セミナーへの導入を考えておられた風呂井年度では、実施会場を地区内一箇所、都城田村学園に限定し、体制を、川平統括委員長逝去のため宮崎RC山田毅委員長に移譲、当クラブからは田中藤雄会員、中馬輝彦会員を増強して臨んだが全面中止となった。

山ノ内年度では、コロナ感染拡大の様子を見ながら第8期を実施。DL間のコミュニケーションツールとしてLINEを活用、池ノ上年度での計画も策定したが、何故か鹿児島のメンバーすべてが解任され、職務は終了した。次年度は、深尾、田中、中馬に米山裕之会員を加え、クラブ管理運営委員会に移籍、戦略計画ワークショップのクラブ活性化セミナー、RLI方式を活用した「新会員研修セミナー」や故 川平建次郎会員が提唱した各クラブ1名の研修リーダーを指名し「講演と質問」形式のクラブリーダー養成・研修セミナー」を計画している。



RLI実施風景▶



地区出向者報告③ 奉仕プロジェクト委員長として 心に残ること

古木 圭介

2011年3月、東北大震災が起こった。2012年、地区として早速支援の計画が審議され、福島県第2530地区のロータリークラブからの情報を受け、川内村が福島原発事故で約半分が立ち入り禁止区域に指定され、住民は避難を余儀なくされてしまっていた。小学校の生徒約160人のほとんどは全国に家族と共に移住していった。

そこで協議の結果、バラバラになった小学生30人を鹿児島・宮崎に招き、夏休みを過ごす企画が実行に移された。プロジェクトは「福島キッズ」と名付けられた。

久しぶりに会う子供たちは大喜びで、汚染の心配のある山や海では遊べないため霧島での登山、指宿での海遊びなどで友との絆を確かめることもできた。

このプロジェクトは当時の山下ガバナー、長峯バスターガバナーの提案で10年計画となった。しかし3年目に川内村長から今後は自力でこのような企画を進めるという申し出があり、翌年からは100万円を図書購入のために送る計画となった。

当時、大震災で心が沈みがちだった小学生たちに短期間でも南九州で過ごし、友情と地区内での交流が出来たことは遣り甲斐を感じたプロジェクトだった。



▲高千穂小学校での交流会



▲韓国岳登山



▲指宿でのシーカヤック乗り



地区出向者報告④

ローターアクト委員会に出向して

小山 光義



▲ローターアクト年次大会

亡き川平先生の推薦で地区ローターアクト委員会に出向し早いもので10年近くになりました。その間にローターアクトの置かれている状況は大きく変わりました。数年前よりローターアクトもロータリアンという扱いとなり、基本的にはロータリアンと同列となりました。

活動としてはロータリーの地区大会に当たる「年次大会」、地区協議会に当たる「ローターアクトのための研修会」を始め、年に4回の地区連絡協議会があります。また、各クラブのローターアクト委員長との連携を深めるために年に2回ほどエリア毎に懇親会を兼ねた「ローターアクト委員長会」も行っていました。

ローターアクトは他地区の年次大会にも頻繁に参加し全国に友達が出来ています。年に一度、全国のアクターが集う「全国ローターアクト研修会」では各地に親しい仲間が出来ており多くの友人と交流を深めている様子を見てとてもうらやましく感じました。個人的には5年ほどアクトを含め会計の仕事をしています。

コロナ以降、残念ながら活動が出来ず会員は地区でも半分以下となっております。今年の地区大会では宮崎RAC在籍の地区代表が、池ノ上ガバナー、RI会長代理と共に壇上に上がりディスカッションをするなど人数は少ないながら質の高さを感じさせました。今後の活性化に微力ではありますが協力していきたいと思います。



▲ローターアクト全国研修会



▲鹿児島西RA委員長会



▲RA地区連絡協議会

地区出向者報告⑤

クラブ戦略計画推進委員長を務めて

山田 拓也

国際ロータリー2730地区で2022-2023年度クラブ戦略計画推進委員会の委員長を務めさせていただきました。これまで委員としては出向したことがありましたが、初めての委員長職、それも地区役員研修などが終わった後の急な就任依頼だったため自分が何をやるのかも分からないままスタートした年度でした。

そのような中でも経験者や先輩方、委員会メンバーの御助力があり無事にクラブ活性化セミナーを開催することができました。セミナーはお陰様で盛況のうちに開催でき、参加者アンケートでもご好評をいただいた意見が多かったです。

クラブ戦略計画推進委員会の役割は文字通りクラブ戦略計画の作成と活用を地区内のクラブに推

進することですが、クラブ活性化セミナーの各プログラムを通じて戦略計画の重要性を各クラブのキーマンにお伝えできたものと思います。この経験を70年、80年と続く鹿児島西ロータリークラブの発展に活かしていきます。

創立60周年、誠におめでとうございます。

地区出向者報告⑥

RLI運営委員会に出向して

中馬 輝彦

2020～2023年度の3年間、国際ロータリー第2730地区RLI運営委員会委員の委嘱を賜り、RLI (The Rotary Leadership Institute) に携わる機会を得ました。RLIは、「ロータリーの基礎」「奉仕と財団」「倫理と職業」「リーダーシップとクラブコミュニケーション」「会員基盤」のカリキュラムセッションがパート1～3に散りばめられており。

自らもDL (Discussion Leader) としてロータリーの奥深さを学びながら、鹿児島県・宮崎県にある同地区68クラブの皆様の豊かなお考え、各クラブのカラー・お取組みに直に触れる貴重な機会となりました。

何より、地区各クラブの皆様の鹿児島西RCに対する敬意が折々伝わって参り、先輩方が培って来られた鹿児島西RCの文化を強く感じる機会となりました。会員各位の努力の上に今があることに感謝し、自らも、微力でもその積み重ねに携わることを出来たらと感じております。

2021-2022 鹿児島市内Aグループガバナー補佐
2022-2025 R3-ARPIC(第3地域公共イメージコーディネーター補佐)
深尾 兼好



▲吹上浜赤フン海岸で開催された「海岸美化プロジェクト」

2021-22年度、井福博文ガバナーの指名を受け、鹿児島市内Aグループガバナー補佐に就任。鹿児島市内グループ会長・幹事会を主催するとともに、地区の方針を伝え、クラブの動向を把握・報告するため、ガバナーの公式訪問同行を含め、担当する6クラブに年24回の訪問を行った。

事業としてはIMの支援。主管の鹿児島北RCと協力して、宮崎緑庵美パーク園長、塩田康一知事他のパネルディスカッションを実施、田中一村作品を使用したPR素材の制作も行った。

また、新しい取り組みとして「ロータリー奉仕デー」を主管の鹿児島西RC、鹿児島大学アカデミーRC、鹿児島南RCと実施。吹上浜赤フン海岸に250名もの参加者を集めて「海岸美化プロジェクト」を行い、その模様はガバナー月信にも掲載された。



翌2022-23山ノ内年度は、山下PDGの後を受け地域リーダーに指名され、ロータリージャパンに出向。公共イメージコーディネーター補佐(ARPIC)として、ロータリーの公共イメージ向上のための施策を検討するとともに、担当する九州4地区のガバナーと情報を共有し活用するという役目を与えられた。

具体的には地域リーダーとして、地区のクラブ活性化セミナーで公共イメージについての指導と助言を与えること。手始めに2720地区クラブ活性化セミナーで実行。と、RIの最重点施策「世界ポリオデー」の盛り上げ。2570地区宮崎陽一郎GEのEnd Polio Cycling Challengeのゴールイベントを行い、その記録写真を世界フォトコンテストに応募した。これは、ジェニファー・ジョーンズRI会長賞の受賞というおまけが付いた。

ARPICは任期が3年。今年度池ノ上年度は「世界ポリオデー」に向けての日経全国版全15段広告の制作を担当し、感染症の権威 尾身茂さんにインタビューをする予定である。



▲佐多岬での世界ポリオデーゴールの様子

鹿児島西ローターアクトクラブ

元会長 木房 知弓

鹿児島西ローターアクトクラブは、2016年に40周年を迎えることができました。40周年に際しては、今まで40年間の会長経験者を始め、鹿児島西ローターアクトクラブに関わりのある方に声をかけ、盛大に周年事業を開催することができました。鹿児島県民交流センター2階の大ホールに多くの出席者を集め、現状の活動報告を行なうとともに、これまでの歴史を振り返りました。

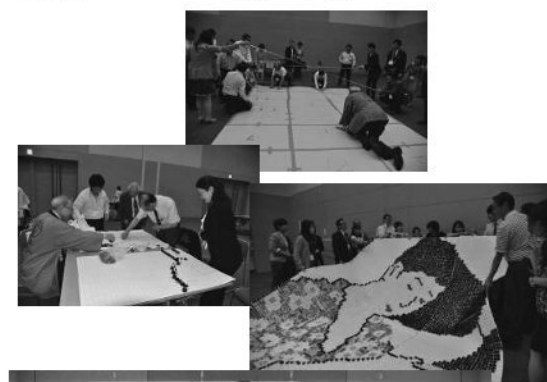
また長年に亘るクラブの活動の1つ「朝清掃」の集大成として、「ペットボトルキャップアート」の作成にも挑戦しました。鹿児島西ローターアクトクラブはスタートした年からずっと月に一度の「朝清掃」を続けてきました。それはローターアクトクラブに関わったみんなの経験であり、歴史を最もよく伝えることができるものだと考え、ペットボトルの蓋を集め、色分けをし、鹿児島県出身の橋口五葉の「髪梳ける女」を作成いたしました。その後、このエコキャップは、曾於にある「障害者就労支援施設ワークランド愛生」の方々にお渡しし、プラスチックチップにしてボールペンなど新しい商品に変えていただくこともできました。

また40周年記念式典では鹿児島西ローターアクトクラブのテーマソングも、当時の会員のみんなとロータリーのローターアクト委員会の方々とともに合唱させていただきました。

ただ残念なことに、現在はローターアクトクラブ会員が減少し、昨年度から会員0で活動できない状態ですが、私達が培ったこの長い歴史を継承するためには、ロータリー、ローターアクトの活動を若



▲鹿児島西ローターアクトクラブ40周年(2016年5月)



▲朝清掃で集められたペットボトルのキャップ約1万個を使い、巨大なキャップアート「髪梳ける女」を制作

い方々に理解していただかなくてはなりません。改めてロータリーの皆様、ローターアクト卒業生の皆様のご支援、ご協力を頂き、ローターアクトの会員増強、そして活動の再開を行えるようにできればと考えております。

2730地区また他地区も含めども会員増強が困難な昨今ですが、それを乗り越え鹿児島西ローターアクトクラブが復活、再生することを願ってやみません。



▲キャップは障害者就労支援施設ワークランド愛生にお渡しし、ボールペンなど新しい商品に替えていただいた

鹿児島西プロバスクラブ

鹿児島西プロバスクラブは、鹿児島西ロータリークラブにより提唱され、1998年(平成10年)1月23日に正式に結成。2023年(令和5年)7月現在で結成満25年を迎えています。

例会日は毎月第2木曜日(12:30~14:00)に開催しています。西プロバス会員数は現在8名、会員の年齢は78~96歳です。(令和5年6月現在)

- ・2014年8月21日 —— 第200回例会開催
- ・2018年1月23日 —— 20年目を迎えた
- ・2018年7月6日 —— 20周年記念として霧島方面へ1泊旅行を実施
- ・2020年1月から7月 —— コロナ感染症拡大ならびに緊急事態宣言につき休会
- ・2021年2月18日 —— 第278回例会は「高齢者より若者達への提言」と題して開催
南日本新聞の取材が有り、例会の様子が記事になり新聞に掲載
- ・2021年8月から9月 —— コロナ感染拡大によるまん延防止重点措置につき休会
- ・2022年2月から3月 —— コロナ感染拡大によるまん延防止重点措置につき休会
- ・2022年11月から —— 例会会場を熊襲亭に移して開催(山形屋ぐるめ館が閉館のため)
- ・2022年12月 —— 第300回例会
- ・2023年6月 —— 第306回例会は霧島宿泊で行った
- ・2023年10月 —— 第310回目の例会

歴代のプロバス委員長

- | | |
|--------------|----------------|
| ・2013-2014年度 | 平野次秋(社会奉仕委員長) |
| ・2014-2015年度 | 大山康成(社会奉仕委員長) |
| ・2015-2016年度 | 高山義則(プロバス委員長) |
| ・2016-2017年度 | 庵木英雄(プロバス委員長) |
| ・2017-2018年度 | 久保真介(プロバス委員長) |
| ・2018-2019年度 | 海江田嗣人(プロバス委員長) |
| ・2019-2020年度 | 天本美信(プロバス委員長) |
| ・2020-2021年度 | 山之氏秀行(プロバス委員長) |
| ・2021-2022年度 | 山之氏秀行(プロバス委員長) |
| ・2022-2023年度 | 山之氏秀行(プロバス委員長) |

(文責 プロバス委員長 山之氏秀行)



▲プロバス新聞記事(2021.2.21)



▲プロバス例会



▲プロバス20周年記念旅行



▲プロバス例会(忘年会2019.12.12)

写真でたどる60年 アーカイブ

1963



鹿児島西RC開設／山形屋壁面看板



授与式 式典



初代櫻見四郎会長・土橋秀夫副会長は
スポンサークラブ鹿児島クラブより移籍



認証状授与



祝賀会



磯庭園 野点接待



鶴岡RCとの交換会 式典



鶴岡RCとの交換会



鶴岡RCとの交換会 懇親会



鶴岡訪問 例会



鶴岡訪問 宴席／記念撮影



鶴岡訪問 鶴岡駅



鶴岡訪問 例会



鶴岡訪問 宴席／記念撮影



クリスマス家族会



1966



クリスマス家族会 インターアクト



クリスマス家族会 ゲーム



月見宴



1967



S42年5月10日 鶴岡RC 兄弟の盟約



加治木仮RC結成式



5周年祝典



観月会



5周年祝典 フランキー堺



S43年12月12日 大津G公式訪問



職場訪問



インターシティゼネラルフォーラム



6RC焼酎会

1973



6RC焼酎会



10周年記念集合写真

1980



R創立75周年記念樹贈呈

1981



R・RA親月家族会



職場訪問 藤安醸造



職場訪問 優良従業員表彰



青少年奉仕 ワンゲル



地区大会 指宿



地区大会 懇親会



1982



三木会



杉村G訪問・クラブ協議会



杉村G訪問記念撮影 鶴鳴館

1983



R75周年記念植樹鹿児島・西・南



RID186地区研究チームクラブ訪問



1983



公式訪問丸田G記念写真



創立20周年記念撮影

1984



例会卓話 山之口市長



R・RA親月家族会



高井会員出版記念



三木会・高井会員出版記念



三木会



田中G公式訪問



1985



R・RA親月家族会 奉仕の理想



R・RA親月家族会 抽選会



1985



外山Gアドレス



外山G公式訪問



外山G公式訪問 記念撮影



外山G夫妻 福田会長



三木会[参陸会]



新春合同例会・鎌田知事



鶴岡RCとの兄弟盟約20周年



奥様方との集い



参陸会(外国人留学生働く青少年の集い)



報道関係者との懇談会



サンタローザ友好協会ウイム団長来鹿

1987



わらび刈り



参陸会



池田G公式訪問・クラブ協議会



池田G公式訪問懇親会



10周年記念学習会



ファイヤースイドミーティング



観月会



合同新年会



参陸会 賀寿





1988 参議会 お祝い賀寿



観桜会



職場訪問 旭相互銀行



10周年記念学習会生みの親 福田先生



観桜会



1992 クリスマス家族会



観月家族会



観月家族会



IM看板



IM看板



鹿児島県IM



第1分科会



第2分科会



第3分科会



1994 PE分科会



2001 地区大会PR



1963



2003 40周年記念式典



太原春雄実行委員長



水流洋会長



スティーブ エイメンド サンタローザRC会長



ステージ主催者席



祝辞 海江田ガバナー



島津義秀氏 薩摩琵琶



包丁術



田島ジャストリオ



50周年祝賀会



写真でたどる60年 アーカイブ

過去の写真等は下記のアドレスからご覧いただけます。

鹿児島西ロータリークラブ
懐かしのアルバム(1963~2003)

<https://r.qrqr.com/6jmHIWKf>



ROTARY SONG
ロータリー・クラブの歌

鹿児島西ロータリー・クラブの歌

作詞 池田 広 作曲 鎌田 範政

1. 燃える心の桜島

友愛深き城の山
育む「寛容」我がつどい
奉仕の理想打ちたてて
かたく結ばん西クラブ

2. あつき心のとしびに

愛情にじむ永遠の道
つらぬく「真実」とともに
奉仕と親睦調和して
今日も集う西クラブ



我等の生業

作詞 高野 辰之
作曲 岡野 貞一

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求むところは平和親睦
力むところは向上奉仕
おおロータリアン
我等の集い

それでこそロータリー

作詞・作曲 矢野 一郎(東京RC)

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠いときには 手を振り合おうよ
それでこそ
ローローロータリー

奉仕の理想

作詞 前田 和一郎(元東京RC)
作曲 萩原 英一(元東京RC)

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に榮えよ
我等のロータリー

手に手つないで

作詞・作曲 矢野 一郎(東京RC)

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おおロータリアン
おおロータリアン

鹿児島西RC創立60周年実行委員会構成

実行委員長	南 徹	アドバイザー	古木圭介
-------	-----	--------	------

副実行委員長		◎小山光義		
委員会	内容	委員長	副委員長	委 員
・総務	会計・事務局	堂園光一郎	永田健吾	長柄英男、加藤洋子
・広報	広報・IT	山田拓也	和田秀一郎 萩原徹	本藏高德、柏木敏郎、海江田嗣人、櫻美義明
・渉外	兄弟姉妹・ 来賓対応	藤安秀一	染川周郎 玉川哲生	大山康成、川畑宏二、天本美信、岩満公久 養田満康、原田恭幸、軸屋麻衣子

副実行委員長		◎山之氏秀行		代行	大山康成・深尾兼好
委員会	内容	委員長	副委員長	委 員	
・記念事業	記念事業 企画	新穂恵	米山裕之	日高好久、諏訪園匠、北野公朗、松田武泰 久永忠範、深尾兼好、益満優、池口恵観 迫田英介、久保眞介、鮎川吉弘、東和宏 荒殿一洋、大福厚範、岩男秀彦、原正親 田畑勇、山下皓三	
・記念式典	記念式典 運営	有村春房	田中藤雄	有馬戦男、荒武貞夫、寺田賢司、内村二郎 川野敏彦、菊永昭二郎、前村さおり、中村英幸 岩元文雄、森俊英、鮫島信一、高木博文	
・祝賀会	祝賀会 運営	濱寄和久	中馬輝彦	水流源彦、増喜裕二、植村公保、宮川博次 出原久美子、池田学、坂元浩治、梁瀬和久 岸本圭市、二俣剛、星野知之、永井美砂江 菊池俊、森亮、岡田健司	

60周年記念式典を終えて

60周年記念のお祝いが無事に滞りなく終了いたしました。心より感謝申し上げます。

実行委員長としての役割を充分果たせたのか否かの心残りはございますが、国内外からの多くの来賓の皆様のご参加、行事の舞台設営演出等、ありとあらゆる面で、たくさんの方々に大変なご足労をおかけして、友愛の感動、そして深い感謝とともに心よりの敬意を表します。

60年と申しますと、長寿のお祝いの言葉で、還暦でございます。還暦とは、十千十二支が一巡りして、もとの暦に還ることあります。西クラブが誕生して、60年の年月が流れ、様々な歴史を綴って参りました。60歳を過ぎて、生まれ変わりの年となる今回の記念式典のテーマが「未来に向けて」でありました。解析不可能と言われている特異点の始まりであります。こんな時代に、私達は、これからの未来を如何に生きていくべきか？非常に難問の命題ではございますが、そういう懸念を吹き飛ばして、ロータリーパワーを発揮して頂いたような意義ある記念式典となりました。ありがとうございました。

今回は、塩田康一 鹿児島県知事、下鶴隆央 鹿児島市長、元国際RI会長 田中作治様、サンタローザサンライズRC御一行、宜蘭RC御一行、鶴岡東RC御一行、下関東RC御一行、薩摩焼共同組合 西郷隆文会長、サンタローザ友好協会 森孝晴会長、鹿児島神社宮司 山下剛様、西田千穂カルテットの皆様、GE池ノ上克様、GN笹山義弘様、歴代のバストガバナーの皆様、ガバナー補佐の皆様、プロバスクラブ、米山奨学生、各ロータリークラブの皆様、ご列席の皆様、お忙しい中、こんなにも多数の皆様にご出席頂き、感無量でございました。ありがとうございました。

ロータリーの理念は超我の奉仕であります。我々、ロータリアンの使命は、新しい時代の知恵を精査しながら、不易な真理を堅持しつつ、超我の奉仕を理念として、世の中の矛盾を是正できるように、人の道を極め続けていくことだと思います。

500年も昔に「古の道を聴きても唱えても我が行いにせずば甲斐なし」と薩摩の名将、島津日新公が教えてくれました。我々ロータリアンは、ロータリアンとしての不易の真理を堅持し、新しい時代と調和した、進化したロータリアンでありたいと願います。

7日の前夜祭に始まり、8日の式典、祝賀会と、みなさまに喜んでいただけたと自負しております。ありがとうございました。

実行委員長 南 徹

